

フォトライフ

四季

カメラのキタムラ カメラとビデオのビッグチェーン
〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎ 045-476-0777
平成9年9月1日発行
季刊第22号
キタムラホームページ
<http://www.kitamura.co.jp/>

カメラの
キタムラ®

vol.22
AUTUMN

特集 写真家・竹内敏信氏

風景が育んだ人の歴史を、
写真を通して探り出す。

.....
[夜空]を撮る 林 完次氏インタビュー

人々の心に安らぎを与える、夜の風景を撮り続けたい。

.....
<新連載>日常風景ウォッチング 第一回

「路上観察」の達人 南 伸坊氏インタビュー

.....
保存版 整理・保存用品特集

真っ青な秋空に、真っ赤に燃えた紅葉のコントラストが美しい。このような状況下ではPLフィルターにより、青空の濃度を高めて美しく撮ると効果が上がる。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックス645 80mm～160mm F4.5 絞り：f22 AE
フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：長野県・小川村



フォトライフ
四季

CONTENTS
Vol. 22
AUTUMN



紅葉は太陽を透かして撮ると効果が上がる。問題はその時の露出。たいていはカメラの露出計の指示よりも、1/2絞りから2/3絞りだけプラス側に補正すると良い効果が得られる。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80mm～200mm F2.8L シャッタースピード：1/60 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：北海道・新得町

特集 写真家・竹内敏信氏

風景が育んだ人の歴史を、
写真を通して探り出す。

キタムラがお薦めする「秋の彩」撮影ポイント 8

<新連載> 写真の楽しみ いっそう広がる 日常風景ウォッチング 第一回

「路上観察の達人」南 伸坊氏① 10

THE フォトワールド⑩ 「夜空」を撮る 林 完次氏インタビュー
人々の心に安らぎを与える、夜の風景を撮り続けたい。 16

保存版 整理・保存用品特集 27



「朝未き」夜が明けきろうとする頃は、独特の雰囲気がある。星が静かに消えゆく時を狙ってみた。
■カメラ：キヤノンF-1 レンズ：24mm 絞り：f11.4 シャッタースピード：60秒 フィルム：RHP 撮影地：栃木県日光市

連載記事

写真おもしろヒストリー⑭
幕末に撮られた日本初の写真
モデルは何と薩摩藩主・島津斉彬 15

新・メーカー探訪 現代銘品カメラ列伝① ニコンF5編 18

フォトライフ ステップアップレッスン⑩
フィルターで、自分のイメージを演出しよう。 20

第5回「全国春の花フォトコンテスト」入賞作品発表 24

「98 環境フォト・コンテスト」のお知らせ 26

読者のページ フォトライフ四季 ふれあい広場 32

プレゼントが当たる！クロスワードパズル 32

編集後記 32

MINOLTA

α-カスタマイジング思想を語りたい。写真が、撮る人とカメラとの一体感から生まれるものである以上、そこには、撮る人の意思、撮る人の心が感じられなければならない。カメラが人の個性にどこまでも合わせるα-カスタマイジング思想は、そこから始まった。それは、世界初のガイドナンバー20*の大光量ズームフラッシュを核とする確かな基本性能。それは、16項目の設定が可能なカスタム機能などによる卓越した操作性。α-807si。思い通りに撮ることのできる圧倒的な自由度が、みごとな映像に結実する。持つ人とコミュニケーションしながら人に向かってシフトし続け、その人だけのオリジナル・ツールとして心地よく使いこなせるα-807si。どこまでも自由に、感動的に、そして美しく。あなたが本当に撮りたかった写真は、きっとこのカメラから生まれる。

ADJUST
ON
DEMAND

- あなただけの映像表現を可能にする高性能。●アイスタートAF、ワイドフォーカスエリアなど瞬間フォーカスを実現する高性能AF。●測光インジケータをはじめとした露出制御の自由度を広げる高精度AE。●3通りの設定が可能な登録機能など、高性能を意のままに操れるハイレベルな操作性。●撮影データメモリー、視度調整機構など写真愛好家必須の充実機能を満載。
- 希望小売価格(税別) α-807si AFズーム24-85mmF3.5-4.5NEW 付 ¥159,000
 - α-807siボディ ¥105,000
 - AFズーム24-85mmF3.5-4.5NEW ¥54,000
 - AFズーム28-105mmF3.5-4.5NEW ¥54,000
 - 縦位置コントロールグリップVC-700 ¥18,000
- *35mmレンズ交換式一眼レフの内蔵フラッシュにおいて。焦点距離80mm時(ISO100・m)



あなただけの好性能へ

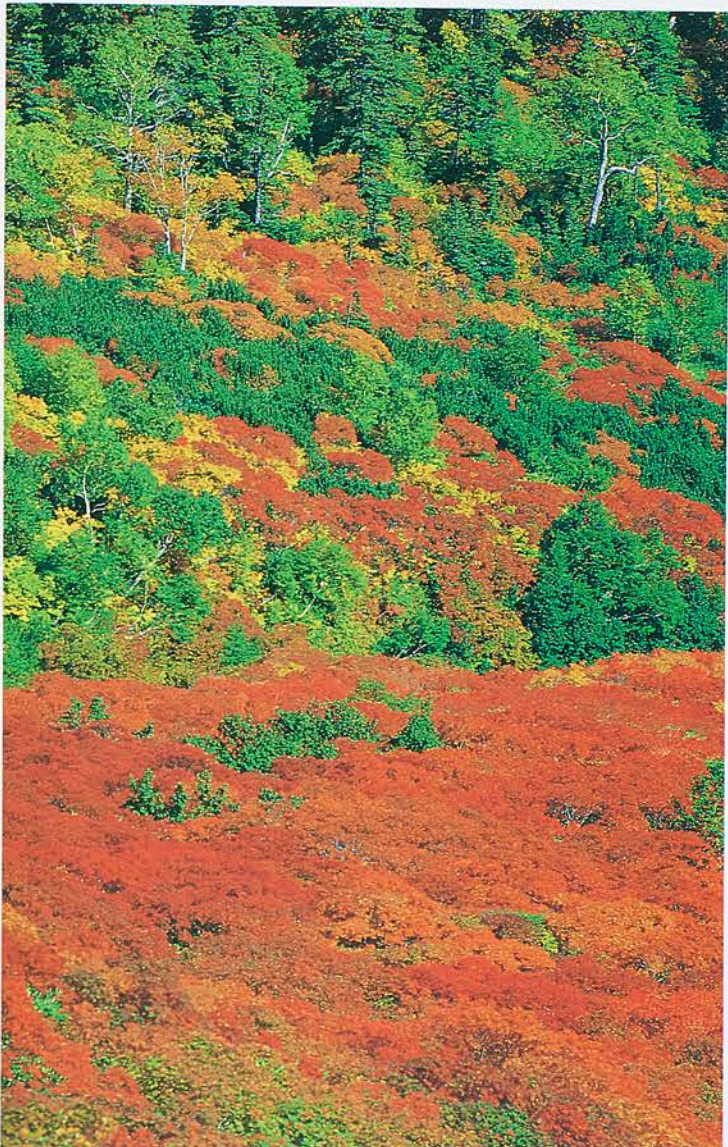
誕生 α-807si

特集 写真家・竹内敏信氏

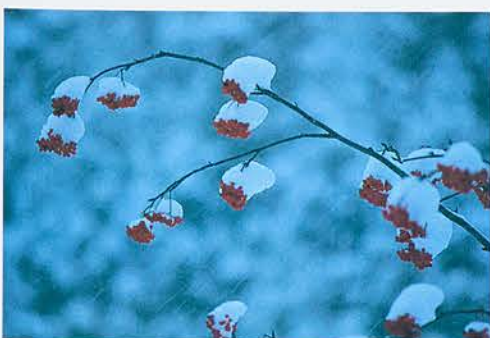
風景が育んだ人の歴史を、
写真を通して探り出す。

カメラのキタムラ「全国秋の彩フォトコンテスト」で、毎年審査をお願いしている写真家・竹内敏信先生は、風景写真の第一人者として、数々の個展や写真集などを通じて作品を発表されています。自然の中に、独自の感性で美しい造形を見いだすとともに、この日本の風土に生きてきた人間の営みや歴史までも写し出そうというテーマ「日本人の原風景」を追求し、精力的な撮影を続けられています。近年はヨーロッパの風景にも目を向けられ、新たな活動を展開されている竹内先生にインタビューを行ない、「自身の「風景写真」に対するお考えや、35mmカメラを中心とした撮影の技法などについてお話を伺いました。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて竹内氏の作品です。



日本で一番早い紅葉は、9月の中旬にやってくる。場所は北海道の山々。標高1000m付近の紅葉樹から色づきはじめる。これは大雪山山腹で見つけたナナカマドの紅葉である。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80mm～200mm F2.8L シャッタースピード：1/60 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：北海道・大雪山



ナナカマドの実に降り積もる新雪。白と紅の対比が見事であった。
■カメラ：ペンタックスZ1 PL レンズ：SMCペンタックス300mm F2.8 シャッタースピード：1/60 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県・西会津



風に揺れるススキの穂波も秋の風物詩。逆光で、穂波が揺れた瞬間がシャッターチャンスである。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF300mm F2.8L シャッタースピード：1/60 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：新潟県・入道村

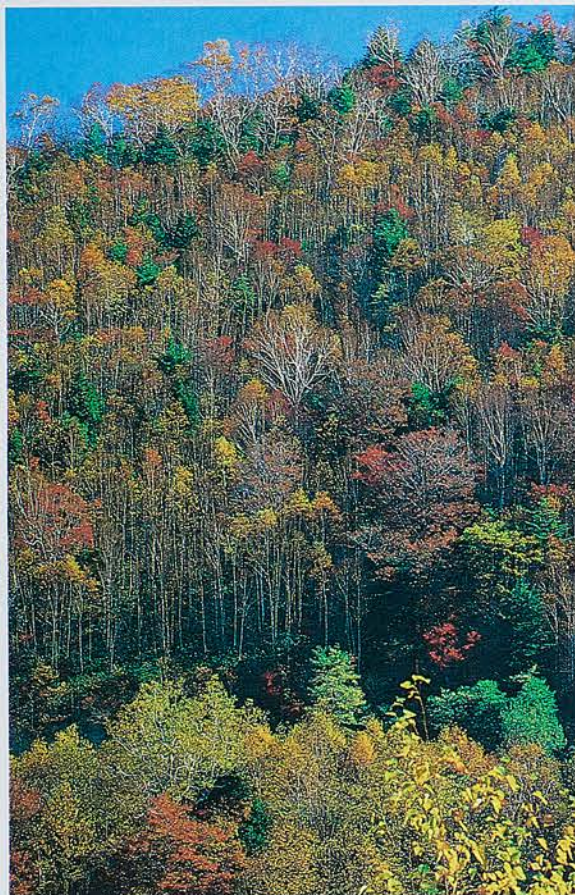


紅葉の始まった北海道大雪山赤岳。この時、絶妙のタイミングで山頂に初雪が降った。真っ赤に燃える紅葉の色合いと、純白の冬将軍との対比がこれまた見事であった。

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80mm～200mm F2.8L シャッタースピード：1/50 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：北海道・大雪山



冷え冷えと明けた秋の朝。湖面からは水蒸気が立ちのぼり、それが薄く水面近くを漂って、幻想的な風景を生み出してくれた。逆光で輝く水蒸気を考慮して撮影。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCベントックス645 300mm F4 絞り：f22 AEマインラス2/3補正 フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：北海道・然別湖



山腹の紅葉を、遠くから望遠で狙うのは意味がある。山の傾斜を感じさせることなく、垂直に立ち上げるようなイメージでとらえたいからである。

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF70mm～200mm F2.8L シャッタースピード：1/50 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：長野県・奈川村



秋の澄んだ青空を、より青く、より深く、より美しく表現するために、PLフィルターをフルに活用する。

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF28mm～70mm F2.8L シャッタースピード：1/50 AE フィルム：RVP PLフィルター使用 撮影地：新潟県・湯之谷村



滝と紅葉は相性がいい。全国の滝の風景を撮ることをおすすめしたい。これは奥日光の湯滝の紅葉である。

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80mm～200mm F2.8L シャッタースピード：1/2 AE プラス1/3補正 フィルム：RFP PLフィルター・三脚使用 撮影地：栃木県・奥日光

風景撮影はドキュメント。自然が見せる一瞬の表情をとらえる。

ドキュメンタリーの経験が、私に「日本人の原風景」を撮らせた。

竹内先生が写真家となられたきっかけは何だったのでしょうか？

私は大学卒業後、愛知県庁に勤めながら、環境問題などをテーマにドキュメンタリー写真を撮っていました。自分で取材したルポルタージュを雑誌社に持ち込んでよく採用してもらっていたので、カメラマンとしてやっていけるという自信がついてフリーになったんです。当時は公害問題などが社会的に関心を集めており、それから十二、三年はこうしたルポルタージュを中心に活動していました。

そのドキュメンタリーから、風景写真へと移行された理由は？

公害によって破壊されたものを撮って、環境問題を社会に訴えてゆくのはとても大切なことなのですが、撮る側としては、一抹のむなしさを感じるんです。それで「これからは環境が破壊される前の美しさを作品にして、自然の大切さを訴えたい」と思い立ったんです。それが風景写真を志したきっかけですね。

やはりドキュメンタリーを撮っていた時の問題意識というものが、風景を撮ることにつながっているんですね。

渓流は、日本の自然風景の特徴のひとつ。世界中を探しても、こんなに美しい水質を持ち、こんなに豊かな樹林に覆われ、四季の変化が美しい渓流は見られない。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックス645 80mm～160mm F4.5 絞り：f22 AE フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：北海道・新得町



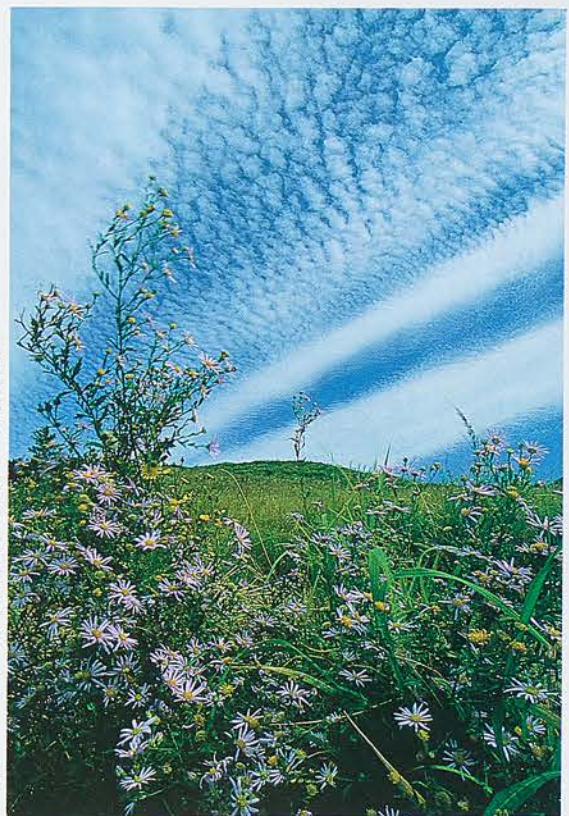
紅葉が終わると草も枯れて、辺りは蕭条とした物悲しい風景になる。これも秋の風情。日本人ならば、この寂しい風景をも美しいと感じて撮れる気持ちを持っているはずである。
■カメラ：キヤノンF-1 レンズ：FD28mm～50mm F3.5 シャッタースピード：1/60 絞り：f11 フィルム：PKR PLフィルター使用 撮影地：群馬県・尾瀬



たわなに実った穂も秋の風物詩。日本人ならではの視点を見つけて撮影したい。
■カメラ：キヤノンEOS i レンズ：EF 80mm f2.0 F2.8 L シッタースピード：1/60 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：岐阜県・丹生川村



秋は空気が澄み、青空はより青く、朝夕の色合いはより鮮やかに染まって我々を楽しませてくれる。雲の様子も変化が出てくるので、注意深く観察して、うつろいゆく空の風景をとらえてみたい。
■カメラ：キヤノンEOS i レンズ：EF 80mm f2.0 F2.8 L シッタースピード：1/30 AE フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：栃木県・那須高原



私にとっての風景写真というのは、ドキュメンタリーを撮っていた時のテーマ性とながっているんです。「人間はどういう環境に住むべきか」という問いかけ、つまり「環境と人間」というのが最初のテーマでした。また、愛知県に伝わる「花祭り」という民俗行事も撮り続けていましたが、この場合のテーマは「風土と人間」。ひとつの地域で時代を越えて繰り返されてきた祭り、これこそ風土が人間を育てているのだということなんです。

環境と人間「風土と人間」、この延長線上で風景を撮ろうと考えてゆくと、日本という環境・風土、そしてそこに暮らしてきた日本人というものが、具体的に浮かび上がってきたんです。それが「日本人の原風景」というテーマでした。物理的にはシャッターを押し

た瞬間が、写真映像として焼き付けられるの

れていたことと関係があるのでしょうか？

私が風景を撮り始めたのは、今から15年位前だと思いますが、その当時は風景撮影という、大型のカメラでしっかりと撮り上げるものだという風潮があったんです。しかしそういうものを、自分はそのまま踏襲したくはなかった。ドキュメンタリーの経験で自分なりにつかんできた35mmならではのアプローチの仕方を風景写真に採り入れたらどうなるか、それをやってみたいと思ったんです。

だから私の風景撮影はドキュメンタリーそのものなんです。被写体が変わっただけで、発想も表現方法も、何ら変わっていないんです。自然が見せるほんの一瞬の表情と、その奥にある本質。35mmカメラだからこそ撮れる瞬間を、私はドキュメントしているんです。

35mmカメラで撮る利点というのは、技術的にはどういふことなのでしょう？

ひとつで言えばフットワークとレンズワークの良さ。特にレンズワークという点では、35mmに勝るカメラはないと思います。風景の構図を決める上で、私はズームレンズを好んで使います。風景写真では、主題と背景とのバランスが大切ですが、両者のバランスを確認しながら、不要な要素を排除したベースのフレーミングを得られるのが35mmカメラのズームレンズなんです。

しかし私は35mmカメラだけで撮っている訳ではありません。被写体によって、35mmから4X5まで様々なタイプを使い分けています。機動力やレンズワークを必要としない被写体で、デリケートな形状や色合いを描写するな



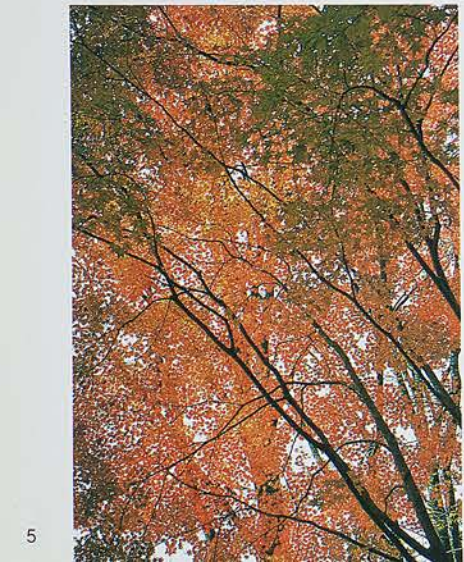
日本人が干し柿をあまり食さなくなったためか、残り柿が村のあちこちで目立つようになった。そして雪がやってくる頃まで、枝の先に残っている。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80mm～200mm F2.8L シャッタースピード：1/50 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：山形県・米沢市

ら、やはり大型カメラの方が有利ですから。また、同じ被写体を35mmと大型カメラの両方で撮ることも心がけています。ただしその撮り方は同じではありません。それぞれの写り方の特性を活かした表現を狙っているのです。35mmだから柔に撮れるということではありません。どんなカメラを使っても、表現するための意識をもつことが大切なんです。

「日本人の原風景」というテーマを経て、最近、先生はヨーロッパの風景にも目を向けておられるようですが、その経緯についてお聞かせいただけますか？

「日本人の原風景」というテーマは、日本人の育んだ自然というものを探ることでしたが、それでは他の民族の場合はどうなんだろうと、ある時考えました。日本人と同じような社会を営んでいて、なおかつ我が国に勝る歴史のある地域と考えると、それはヨーロッパ

紅葉を下から透かして撮る。空の明るさが強く、そのままの露出だとアンダーになって、紅葉の色合いが出ない。露出計の指示より2/3～1絞り程度プラス側に補正するとよい。
■カメラ：キヤノンEOS i レンズ：EF 28mm f2.8 F2.8 L シッタースピード：1/50 AE フラッシュ補正フィルム：RVP PLフィルター使用 撮影地：長野県・信濃町





福島県・会津地方の名瀑「つむじ倉滝」の秋の風景。紅葉と水の美しい対比がとらえられる。滝の撮影は1/2程度の低速か、1/250以上の高速でとらえると面白味が出やすい。

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80mm~200mm F2.8L シャッタースピード：1/2 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県・柳津町



斜光に照らし出された山腹の紅葉。秋は太陽が南に傾いて、常に斜光線のライティングになるのを生かして被写体に立体感をもたせる。午後遅く、太陽が低くなった状況で撮影。

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80mm~200mm F2.8L シャッタースピード：1/30 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：山形県・米沢市



柿の枝に霧水が付いた。面白いことに枝には付くが、実には霧水が付着しない。表面がツルツルして滑ってしまうからだろうか？

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックス645 300mm F4 絞リ：f22 AE フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：山形県・米沢市

水面に反射した青空と、逆光に照らし出された紅葉との色合いのコントラストがすこぶる美しかったので、その部分のみを強調した。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックス645 80mm~160mm F4.5 絞リ：f22 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：山形県・西川町



そう、良い被写体を見出すために一番大切なのは、目の前の風景の中に、自分の感性で魅力を発見することです。そういう意識をもって自然を見つめることで、被写体としての輝きを放ってくるものなのです。また、良い被写体が見つかったとしても、写真になった時に、その良さが見た人に伝わらなくては良い作品とはなりません。だからそういうものを的確にとらえる基本的なテクニックと、自分が感じたものをいかにして伝えるかという表現力も身につけなければなりません。写真で大切なのはこの「感性」「テクニック」「表現力」の3要素。これらを総合的に培ってゆく訓練を重ねれば、皆さんの作品も一段と磨かれたものとなっ

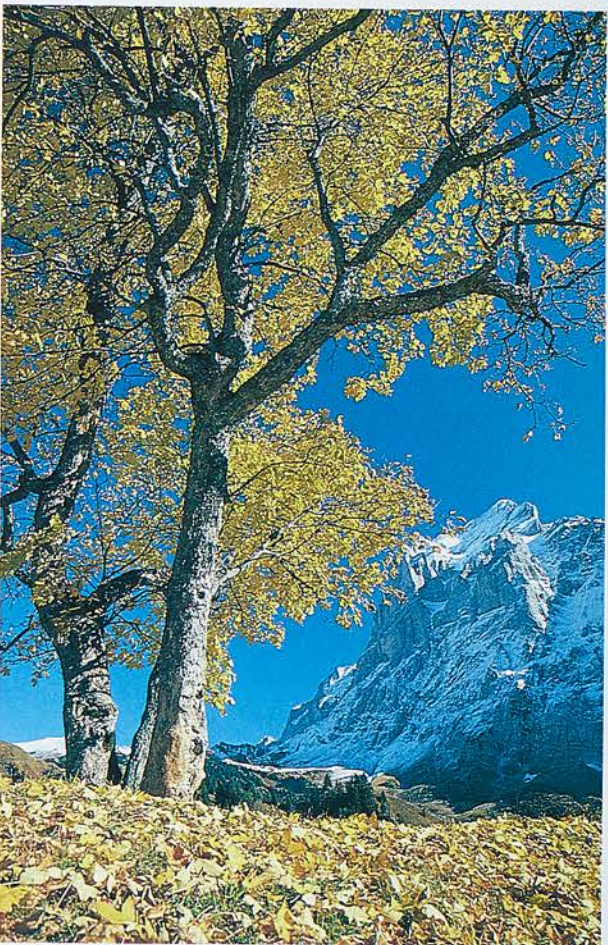
てゆくでしょう。

——いつもありがとうございます。

目の前の風景の中に、自分の感性で輝きを発見する。

外国の秋も、機会があれば撮影してみよう。これはスイス・グリンデルワルトの秋の風景。日本と異なり赤く色づく紅葉は見られず、ほとんどが黄色か橙色である。白銀を抱いたアルプスとの対比が美しい。

■カメラ：キヤノンT-90 レンズ：FD24mm~35mm F3.5L シャッタースピード：1/30 AEフィルム：PKR PLフィルター使用 撮影地：スイス・グリンデルワルト



ッパしかないと思いついたのです。我々日本人と同じくヨーロッパの人々が構築してきた歴史や文化、そして民族の自然観が反映された風景を、写真によって引き出してみたい、というのがその基本的な考えでした。

例えばスイスなどは、同じ国の中でもドイツ語圏・フランス語圏・イタリア語圏に分かれるんですが、それぞれ街の風景が明らかに違いますね。北側のドイツ語圏に行くと、ゴミひとつない実に整然とした街並で、樹の植え方もきちんとしている。ちよつと南側のフランス語圏に行くと、ゴミがちらほら落ちていて、樹の植え方も大きっぱいになってくる。山を越えてイタリア語圏まで行くと、建物も汚いし、もうあちこちゴミだらけです(笑)。

ですから自然風景に限らず街並なども含めて、ヨーロッパにもそれぞれの国民性が作り出してきた原風景というものがあつたんです。そしてこうした比較文化論のようなことが、写真を通してできるところが面白いんですよ。

風景写真の3要素は、「感性」「テクニック」「表現力」。

今年も「全国秋の彩フォトコンテスト」の審査を先生にお願いするのですが、最後に応募者へのアドバイスをいただければと思います。

ヨーロッパで紅葉を撮ろうと思っても、葉



落ち葉の風景も秋の情感を引き出してくれる。これはドイツ・シュトゥットガルトの公園で見つけた秋。

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF20mm~35mm F2.8L シャッタースピード：1/20 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：ドイツ・シュトゥットガルト



外国では日本と異なり、広がりのある大きな風景と対峙することが多い。そのスケールに負けないよう、自分自身の感覚でフレーミングしていきたい。

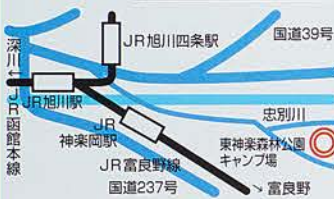
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF28mm~80mm F2.8 L シャッタースピード：1/60 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：スイス・サンモリッツ

訳ではありません。様々なものの中で、紅葉が主題として際立っているのだと認識することが大切です。紅葉だけでなく、周辺のものにも注意を向ければ、主題を効果的に際立たせる表現方法がきつと見えてくるはずですよ。

——これは紅葉に限らず、すべての風景撮影に共通するポイントですね。

〈一般の部〉

1 ①徳永 直美氏 ②北海道東神楽町(旭川市隣接)東神楽森林公園キャンプ場内 ③旭川市→国道237号旭岳方面→東神楽森林公園 ④9月下旬午後5時~6時



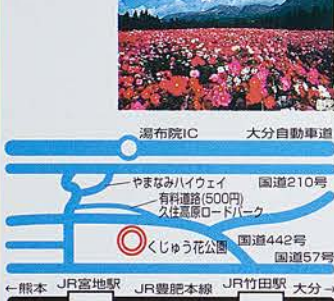
2 ①佐藤 幸弥氏 ②秋田県八幡平見返峠(岩手県との県境)から西方100mの県道沿い ③東北自動車道松尾八幡平IC→アスピーテライン八幡平ICより約1時間→見返峠④10月中旬午後2時頃



6 ①森川 光章氏 ②和歌山県伊都郡かつらぎ町 四郷地区大久保 ③JR和歌山線笠田駅下車→タクシー→30分→大久保 ④11月上旬午前10時頃 天気の良い日がベスト



10 ①甲斐 慎一氏 ②大分県直入郡久住町大字久住「くじゅう花公園」 ③大分自動車道湯布院IC→約30分→くじゅう花公園 ④10月中旬午前9時頃



カメラのキタムラ 「第6回全国秋の彩フォトコンテスト」 作品募集のお知らせ

賞金総額500万円!

「年々応募作品のレベルが着実にアップしている」と審査員の竹内敏信先生からもご好評をいただいているキタムラ「全国秋の彩フォトコンテスト」。今回は紅葉をはじめ、日本の「秋の彩」を表現した作品なら何でもOKですので、皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。

※詳しくは、9月上旬よりカメラのキタムラ店頭で設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。



5 ①丹羽 明仁氏 ②長野県上水内郡戸隠村 そば博物館付近 ③JR信越本線長野駅下車→川中島バス→そば博物館下車 ④9月上旬午前中



4 ①丸山 健二氏 ②長野県南佐久郡八千穂村 八千穂高原 ③JR小海線八千穂駅下車→バスがタクシーで約40分(約20km)→八千穂高原



3 ①富澤 浩氏 ②千葉県佐倉市城内町 城社公園 ③JR総武本線佐倉駅下車 北口を出ると左側に見える丘の上 徒歩25分 ④11月中旬午前中



8 ①佐屋 卓志氏 ②岡山県川上郡川上町大字高山 標高654m 弥高山頂上 ③中国自動車道北房IC→国道313号を福山方面→川上町 宮山トンネル抜けて右折(北房ICより約1時間) ④10月中旬午前6時頃



7 ①柏村 晴男氏 ②山口県厚狭郡楠町下矢橋 ③JR山陽本線小野田駅が厚狭駅下車→バス船木行き終点→バス吉部行き→下矢橋下車→徒歩3~5分 ④11月中旬~2月末 午前8時頃



6 ①天野 勝氏 ②静岡と山梨の県境 阿倍峠 ③JR東海道本線静岡駅下車→バス梅ヶ島温泉行き終点→徒歩1時間→安倍峠 ④10月下旬~11月上旬午前5時~日の出まで



5 ①大野 昇平氏 ②石川県白山スーパー林道 赤石の滝 ③国道157号 河原山→白山スーパー林道または国道156号 白川村→白山スーパー林道 ④10月下旬



10 ①池上 雄司氏 ②熊本県八代郡泉村 せんだん轟の滝 ③九州自動車道松橋IC→車で泉村役場→河合場→せんだん轟の滝 ④11月上旬



9 ①野村 精一氏 ②高知県大川村 ③JR予讃線伊予三島駅下車→車で1時間40分→大川村 ④10月下旬 午後2時頃



4 ①大津 浩平氏 ②富山県立山町 称名滝付近 ③富山地方鉄道立山駅下車→バス称名滝行き終点(車で富山市内から約50分) ④10月上旬 午後2時頃



3 ①中畝 重太郎氏 ②群馬県東村小中 大滝 ③わたらせ渓谷線小中駅下車→小中川沿い徒歩2時間約7.7km→大滝無料駐車場→徒歩10分→大滝 ④10月下旬 午前8時~10時



8 ①伊勢屋 昇氏 ②広島県佐伯郡宮島町 大元公園 ③JR山陽本線宮島口駅下車→宮島行きフェリー→フェリー棧橋→徒歩15分→大元公園 ④11月中旬 午前9時~11時頃



7 ①吉田 芳雄氏 ②奈良県吉野郡黒滝村大字赤滝 ③近鉄吉野線下市口駅下車→バス笠置行き黒滝案内センター乗換→バス赤滝行き終点(1日2便) ④11月中旬 午前11時頃



キタムラがお薦めする「秋の彩」撮影ポイント

〈紅葉の部〉

ここに紹介する撮影ポイントおよび写真は第5回全国秋の彩フォトコンテストに入賞された方々にご協力いただいたものです。

説明の番号は ①=撮影者 ②=撮影場所 ③=交通手段 ④=撮影チャンス時期と時間

※ここに掲載した撮影ポイントは、ほんの一例です。 ※撮影時期はその年の天候によって左右されます。確認の上お出かけください。 ※掲載写真は昨年以前に撮影されたものであるため、現在は景観が変わっている場合もありますのでご了承ください。 ※ここに紹介した場所で撮影をする場合は、常識的なエチケット・マナーを守るようにしましょう。特に撮影地の所有者及び近隣に迷惑をかけるまいよう、また自然環境への配慮などを忘れないよう、ご注意ください。

2 ①杉浦 学氏 ②岩手県栗石町 滝ノ上温泉 鳥越の滝 ③盛岡市→車で40分→玄武洞→車で30分→滝ノ上温泉 ④10月中~下旬



1 ①吉田 義則氏 ②大雪山赤岳 第一花園(赤岳中腹) ③国道39号 層雲峡→バス(1日1往復のみ、マイカーが通ず)→銀泉台無料駐車場→徒歩約1時間→第一花園



「路上観察」の達人 **南 伸坊氏**①



この一帯は、町おこしで昔の宿場町風のを復元しているらしい。大井川に近い静岡の島田にて。



板張りの一部だけ色が塗っていない。何か物が置いてあったのか？その跡が犬の形に見える。静岡の興津にて。



石屋さんにあった石つくりの小僧小僧。売り物だろうか。顔が小僧というよりはオヤジっぽい。静岡の磐田にて。



「島活」というのは島田の活動写真館、つまり映画館です。あえて看板は古いままにしてある。静岡の島田にて。

1986年、「路上観察学会」なるユニークな団体が結成されました。そのメンバーといえば、今回ご登場いただいた南伸坊氏のほか、赤瀬川原平氏(作家・画家)、藤森照信氏(東大教授・建築史家)、林丈二氏(イラストレーター・作家)、杉浦日向子氏(江戸風俗研究家)、松田哲夫氏(編集者)などそうそうたる顔ぶれ。「路上観察学」なる新しい学問(?)を追求する、何やら面白そうなグループとして注目されたことは、ご存じの皆さんも多いことと思います。

この学会によれば、「路上観察」の定義は「通常は景観とはみなされない看板や貼り紙、廃屋などを、見立てによって楽しむ知的な遊び」。それぞれが独自のテーマをもつメンバーの皆さんが、日本全国を西へ東へと飛び回り、各地の路上物件を観察して、その成果をカメラに収めて発表されています。

「路上観察学」なんて言うと、何やら大それたに思われるかも知れませんが、ボクらは遊びで楽しんでやっているだけで、全然たいたものではないんですよ。ボクが考える「路上観察」というのは、写真というものを誰でもが気軽に楽しむための、ひとつの方法なんです。そういう意味では、数ある写真ジャンルのひとつに加えてもいいかな

写真を好きな方なら誰だって、道すがらの変わったものに、自然とカメラを向けているんじゃないですか。

も知れない。

結果も含め、今まで南さんが撮られた物件写真の中から選りすぐりの傑作を誌上でご紹介させていただきましたので、どんな面白いモノが飛び出するか、南さんのお話とあわせてお楽しみください。

新連載

写真の楽しみ いっそう広がる

日常風景ウォッチング〈第一回〉

「路上観察」の達人

南 伸坊氏 ①



自然風景や動植物、そして人物のポートレートなど……。読者であるアマチュアカメラマンの皆さんも、それぞれのテーマで日夜よりよい作品づくりに励んでおられることでしょう。でも、ちょっと視点を変えて街の路上に目をやれば、見慣れた日常風景の中にもなかなか味わい深い建物や、意外と絵になる物たちが存在していることに気づくはずですよ。時には肩の力を抜いて、そんな身近な被写体にカメラを向けてみるのも一興ではないでしょうか。

みなみ しんぼう

1947年東京都生まれ。雑誌「ガク」の編集長を経て、80年よりフリーに。NHKテレビ「スタジオL」の司会などで、坊主刈りオニギリ頭がお茶の間にも知られ、人気を得る。現在は軽妙なイラストと文章の「イラストライター」として活躍中。主著は「モンガイカンの美術館」(朝日文庫)、「ハリガミ考現学」(笑う写真) (ともにちくま文庫) など。

「路上観察」の達人 南伸坊氏①



これも古そうなクリーニング屋さん。商標にしている鳩のマークも味がある。静岡の浜松にて。



幼稚園の中に古い汽車の車両があって、そこに絵を描いたり人形を置いたりしている。静岡の浜松にて。



「生ゴミ処理にボカシ1袋100円」半透明のゴミ袋のことだろうか？「ドレミ作業所」という名前もよくわからない。静岡の磐田にて。

の方も、休日には「路上観察」でちょっと変わった人になってみるのも、ある種の解放感が味わえていいと思うんです。いつの間にかいつもの2倍、3倍の距離を歩いてしまいますから、健康にもいいですね。

例えば「文学散歩」みたいに、ある目的をもって街を歩くという行為自体は、ほかにもあると思うんですね。街に出て、歴史的にいわれのあるものを眺めてみるとか。ジャンルとして確立していて、「何々を見て歩く」というような既存のメニューにあるものなら、みんな堂々とやると思うんですね。その点「路上観察」的な何だかどうえような物件は、ちょっと気になって写真に撮ったとしても、そのままに見せたり話したりすることもなく、忘れ去られてしまうことが多いのではないのでしょうか。

そういう目立たないけど実は多くの人々がしていることに、たまたまボクらが「路上観察」と命名しただけなんです。こんなもつともらしい名前を付けてしまうと、

「正しい路上観察のやり方を教えてください。」と、あるんで、人々

「なんて聞いてくる人がいて困っちゃうんだけど(笑)。基本的にはジョーダンでやっているわけだし、本人たちさえ楽しめればいいんですよ。ボクらだって元々は、これで本を出して発表しようと思ってやってきたわけじゃないんで。だから、路上観察のコツとか、正しいやり方なんてものはないんです。ひとりひとり楽しみ方は違うわけ。その楽しみ方がわかりたいのなら、やはりそういう時間を積極的に持つてみることでいいですね。一見、無意味に思えることでも、続けてゆくとうちに何らかの意味が出てくるものなんですよ。

テレビを見ていても、よくそこでやっていることに、見る側が茶々を入れて笑い合っていることってあるけど、「路上観察」もそれと同じで、ある面では仲間同士の話題や笑いのネタを探して歩いているようなものなんです。注意して見れば、そういう面白ネタというのは街なかに結構たくさん

(次号につづく)

ランボーが人目を引こうとしているビデオ屋の看板。まんまと思惑にはまって写真を撮ってしまった。静岡の磐田にて。



上手くなったような気がする。本当はカメラのおかげなんですけどね(笑)。それでついつい周りの風景なんかに、カメラを向けたくなるんですよ。

おそらく一般のカメラや写真が好きの方だと、どこかへ行った時に撮るものといったら、旅先の風景や、同伴者

こういう街なかの変わったモノ、気になるモノにカメラを向けている人たちがいて、また周りの人たちがそういうモノを面白いと思ってくれるようになれば、もっと「路上観察」が一般に広まるんじゃないかと思うんです。すごく面白いモノを撮ったとしても、今までだと「こんなの人に見せたら変人扱いされるんじゃないか」などと心配して、あまり公に発表している人はいなかったんじゃないかな。やっぱりボクも

の会話の中で「この前、街を歩いたら、こんな面白いものがあってさあ」って話し合うのは楽しいでしょう。だからボク自身にとっても、採集した物件写真を自分のコレクションとして楽しむというよりは、人に見てもらうことで、いっしょに現場に居合わせたかのように面白さを分かち合えるのが、「路上観察」の一番の楽しさなんです。

気軽にジョークの精神で取り組んでいるとはいえ、やればやるほど奥深いものがある。「路上観察」の世界を追求する南伸坊氏。皆さんもこんな南さんのお話を参考にして身近な風景に目を向け、新しい写真の楽しみ方を発見してみたいかがでしょう。さて、次号では、今号に引き続き南伸坊氏にご登場いただき、南さん流の「路上観察法」について詳しく語っていただきます。お楽しみに。

店の名前が平仮名の「ね」一文字という変わった居酒屋の看板を発見。静岡の磐田にて。



「正しい路上観察のやり方」なんてないんですよ。人それぞれ楽しみ方は違うんだから。

こういう街なかの変わったモノ、気になるモノにカメラを向けている人たちがいて、また周りの人たちがそういうモノを面白いと思ってくれるようになれば、もっと「路上観察」が一般に広まるんじゃないかと思うんです。すごく面白いモノを撮ったとしても、今までだと「こんなの人に見せたら変人扱いされるんじゃないか」などと心配して、あまり公に発表している人はいなかったんじゃないかな。やっぱりボクも

「正しい路上観察のやり方」なんてないんですよ。人それぞれ楽しみ方は違うんだから。

こういう街なかの変わったモノ、気になるモノにカメラを向けている人たちがいて、また周りの人たちがそういうモノを面白いと思ってくれるようになれば、もっと「路上観察」が一般に広まるんじゃないかと思うんです。すごく面白いモノを撮ったとしても、今までだと「こんなの人に見せたら変人扱いされるんじゃないか」などと心配して、あまり公に発表している人はいなかったんじゃないかな。やっぱりボクも

「正しい路上観察のやり方」なんてないんですよ。人それぞれ楽しみ方は違うんだから。

こういう街なかの変わったモノ、気になるモノにカメラを向けている人たちがいて、また周りの人たちがそういうモノを面白いと思ってくれるようになれば、もっと「路上観察」が一般に広まるんじゃないかと思うんです。すごく面白いモノを撮ったとしても、今までだと「こんなの人に見せたら変人扱いされるんじゃないか」などと心配して、あまり公に発表している人はいなかったんじゃないかな。やっぱりボクも

「危険(あぶない)」というご丁寧な看板。池のまわりで遊ばなければ、池の中に入る事もないと思うんだけど。静岡の浜松にて。



つてからできたんですが、すでにこの頃からそういうモノには興味を持っていました。ボクの場合、もともとは純粋に路上を観察するのが主目的で、写真は記録として残す意味で撮っていたんですが、やっぱり同じようなモノでもきれいに撮れた方が、見た人が感心してくれる。最初の頃はコンパクトカメラでロクにファインダーを覗きもせず、片手でパチパチやっていたんですが、あまりに素っ気ない写真なんで、物件自体は面白くても、いまひとつウケが悪いんですよ(笑)。それで、ついにオートフォーカスの一眼レフを買ったんです。今もずっと愛用しているんですが、それで撮ると、同じようなものを撮っても「おっ、いいじゃない」「ってことになる。露出なんかも自分でいじらなくても、カメラの方でちゃんと合わせてくれるし、きれいに撮れると、やっぱり気持ちがいいんです。何だか自分が

石つくりのかなり古そうな魚屋さん。看板はタイルで作ってあった。静岡の磐田にて。

のスナップを撮ってあげたりといったことが普通だと思えますが、やっぱりその道すがらに変わった看板なんかがあったら、自然とカメラを向けているんじゃないかとボクは思うんです。いろいろな方に聞いてみると、結構みんな「路上観察」的な写真は撮っているようです。読者の皆さんの中にも、同じような事をされている方はいらっしゃるんじゃないかな。

何だかよくわからないモノのひとつ。多分、江戸風の物を復元した時の部品だと考えられる。東京の品川にて。

幕末に撮られた日本人初の写真 モデルは何と薩摩藩主・島津斉彬

1839年、フランスのパリで写真の発明が公表され、それから9年後の1848年(嘉永元年)、長崎商人であった上野俊之丞が、オランダ船から写真機材を買い上げています。これが日本における写真の歴史の始まりです。この写真機材はダゲレオタイプと呼ばれ、現在のカメラとはまったく異なるタイプです(注:年代については様々な説がありますが、ここでは昭和50年代に発見された、日本の写真に関する資料に沿って年代を表記しています)。当時、上野俊之丞は薩摩藩の御用商人であり、海外から諸々の機械や化学薬品などを輸入しては、すぐに薩摩藩に届けていましたが、彼は蘭学に明るく、市井の科学者としても一流だったようです。

その後、ペリー艦隊が1854年に日本に上陸しましたが、同行して来た写真家ブラウンは、大型カメラをかついで日本を撮り歩いています。現在で言うなら報道写真家のようなものでしょう。ブラウンが横浜に上陸して、佐久間象山と出会い、象山が「そのダゲレオタイプはイオジウムかフロジウムか」と薬品の質問をしたので、ブラウンが驚いた逸話が残っています。我が国に撮影技術はまだ広まっていなかったものの、写真の知識はすでにかなり進んでいたのでしょう。

日本人がダゲレオタイプで初めて撮影に成功したのは1857年、薩摩藩の科学者・市来四郎が撮影した薩摩藩主・島津斉彬の写真ですが、最初は斉彬も撮られるのに多少の懸念と不安があったようです。自分より先に、試みに二人の家臣を撮影のモデルに指名したそうです。ところが家臣は「人の魂を吸い取る異国の機械に、日本魂を吸い取られるのは先祖に申し訳ない。さりとて君命であるからいかんともなすことができぬ」と、切腹してしまつたという話が伝えられています。これは後から作られた話とも言われています。ともかく斉彬は撮影に成功、写真の出来映えに驚嘆してその写真機材を自分で「印影鏡」と名付けました。

その後、もし「写真」の名称が生まれなかつたら、現代でも「印影鏡」と呼ばれていたかも知れません。なぜ「鏡」だったのかというと、実はダゲレオタイプの写真は逆像に写るものだったので、こう表現されたのでしょう。侍姿で刀の位置や着物の襟が左右正しく写っているのは、撮影前に着物を逆に着たり、刀を逆に差したりしたのではないかと想像されます。



写真機輸入の祖・上野俊之丞の肖像画



日本人初の写真 薩摩藩主・島津斉彬の肖像



薩摩藩主・島津斉彬撮影の図 木版「照国公感旧録」から模写したもの

幕末にはこの後、裕福な大名によってオランダから写真機材が何台か輸入されていますが、文献に「形は分かるが目や鼻が判然としな」とあるところから、うまく写った例は少なかつたのではないかと考えられます。そしてこの写真を研究するに当たり、大名は誰に命じていいのか分からず、結局、鉄砲伝来の時に活躍した刀鍛冶に命じたという話も残っています。命じられた方も目をシロクロさせただけではないでしょうか。また、徳川御三家・水戸の斉昭も家臣を長崎へ赴かせ、「蘭人から一式を持ち帰った」と文献にあります。

この後、上野俊之丞の息子であった上野彦馬や、また営業写真館を開業した下岡運杖らが、日本において写真を広めていったのです。

写真おもしろストーリー 14

Nikon



F・新次元。



そして 映像は未体験領域へ

Nikon F5

希望小売価格(税別)
ボディ本体(ストラップ付) ¥325,000
AFニッコール50mmF1.4D付 ¥360,000
標準装備: マルチフォトリックファインダー-DP-30・EC-Bスクリーン

■カタログをご用意しています。機種名をご明記の上、100-91東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室宛ご請求ください。

株式会社ニコン 本社 100 東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル) 製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話(03)3216-1010

京セラ株式会社



CONTAX AX

Automatic Back Focusing System

- 永年愛用のカーブ・ツァイスT*レンズがそのまま使える画期的なAFシステム
- 新開発オートマチックバックフォーカシング方式
- 作画重視の測光方式、中央重点平均測光/スポット測光
- 高精度 最高速1/6000秒縦走行フォーカルプレジシャッター
- チタンカバー採用の強靱なアルミダイキャストボディ
- 絞り値、シャッター速度、露出モード、露出補正値の撮影データ等を記録できる専用データバックD-8
- メーカー希望小売価格: 本体 250,000円 データバックD-8 68,000円(税抜き価格)
- お問い合わせは: 京セラ(株)光学機器事業本部 〒150 東京都渋谷区神宮前6-27-8 TEL.03-3797-4611(代)

「夜空」を撮る

人々の心に安らぎを与える、夜の風景を撮り続けたい。
林 完次氏（写真家）



「夕月」三日月は満天の星空への序曲。刻々と変化する空の色が楽しい。
■カメラ：ペンタックス67 レンズ：75mm 絞り：f5.6 シャッタースピード：1秒 フィルム：RVP 撮影地：長野県川上村

風景などを長年撮り続けておられるアマチュアカメラマンの皆さんでも、夜空や夜景を写真に撮ろうと考える方は、意外と少ないのではないだろうか。我々の先人観として、昼間の風景撮影とは違った特別な機材や技術が必要と考えることもその一因だろう。

が、十数年前、地球に接近したハレー彗星の撮影に出かけた時に、彼の「写真観」を変える出来事が起こった。「現場で赤道儀を組み立てようとしたら、ボルトが一個足りなくて結局使えなかったんです。仕方なく普通にカメラを三脚に据えて撮り始めたんですが、せっかくだから遠くに望む山々とか、民家なども構図に入れてみました。私は常々、都会で暮らす人々に心がなごむ、ほっとするひとときを与えてあげられるような作品を撮りたいと考えていたのですが、この時に撮った写真を見て、まさにこれだと思ったんです。」

「夜空の撮影といっても難しいことはありませんよ。私が撮っているような写真は風景の延長ですから、一眼レフカメラに三脚とレリーズを用意して、比較的高感度のフィルムを使えばすぐに撮れます」と事もなげに語るのは、今回取材をお願いした林完次氏だ。

また、その頃彼が痛切に感じていたのは、天体撮影に適した真つ暗な場所が少なくなっ

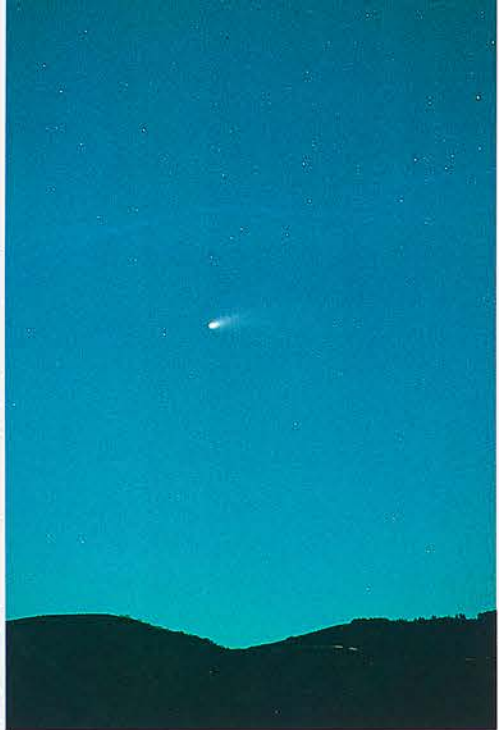


「有明けの月」月がありながら夜が明けてきた。朝月夜、残月、月痕、どれも響きのいい呼び名だ。
■カメラ：ペンタックス67 レンズ：45mm 絞り：f5.6 シャッタースピード：10秒 フィルム：RVP 撮影地：山梨県上九一色村

少年の頃から夕焼け空や星の動きに魅せられ、またカメラや望遠鏡にも興味をもったことから自然に夜空の写真撮り始めたという林氏。「夜空」とはいつも彼の作品には地上の樹々や建物までも含めた夜景や、鮮やかに彩られた夕空などをとらえたものも数多い。単なる天体写真とは違った美しさと趣、そして黄昏から夜明けまでを含めた「夜」が醸し出すロマンチックな空気が感じられる。林氏がこうした独創的な写真を撮られていることには、いくつかの理由があるようだ。

通常、いわゆる天体写真を撮るには、「赤道儀」と呼ばれる自動的に星の動きを追って回転する望遠鏡が用いられる。林氏もかつてはこうした機器を使って天体写真を撮っていた

フにはない面白さですわね。」
何十年に一度の彗星の接近や月食のように特別な天体現象だけでなく、日常の夜空の中にも、十分に見ごたえのあるファンタスティックな世界が繰り広げられていることを、林氏に教えられたような気がした。



「ハール・ボップ彗星」ほうき星とはよく言ったものだ。魔法の姿はどこ？
■カメラ：キヤノンF1 レンズ：85mm 絞り：f12 シャッタースピード：15秒 フィルム：RDP II 撮影地：茨城県八郷町

「夕日がくれ」沈もうとする太陽が、にわかには発生した雲で覆われた。今宵の星空が気にかかる。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：28~70mm 絞り：f8 シャッタースピード：1/125 フィルム：RVP 撮影地：福島県楡原湖



「星空」八丈富士にまたたく北極星。地上の明かりがファンタスティックに山を浮かび上がらせた。
■カメラ：ニコンF3 レンズ：35mm 絞り：f12 シャッタースピード：60秒 フィルム：RSP 撮影地：東京都八丈島

「ですから、計算が狂って失敗することもありませんよ。例えて言えば、窯から出すまで出来の良し悪しがわからない焼き物のようなものですね。現像が上がってくるまでどんな写真かわからないんですから。でも、時には良い方向に誤算があつて、それが思ったより良かったりするんですよ。そういうのも、夜空を撮る上での、他のモチー



「宵の明星」あかね色の空に一番星がまたたく頃は、星好きにとって血が騒ぐ時だ。
■カメラ：ペンタックス67 レンズ：105mm 絞り：f8 シャッタースピード：2秒 フィルム：EPL 撮影地：東京都八丈島

はやし かんじ
1945年東京都生まれ。明治大学卒。日本天文学会会員。自然科学写真協会会員。著書・写真集はベストセラーとして話題となった『宙ノ名前』（光琳社出版）をはじめ、『21世紀星空早見ガイド』（講談社）、『星座』4分冊（保育社）、『星ものがたり』5分冊（小学館）など多数。

プロを満足させる機能と、 分かりやすい操作性を両立。

1959年にニコンFが登場して以来、ニコンの最高級機として常に我が国の一眼レフカメラをリードし続けてきた「F1」シリーズ。その長年にわたるシリーズの歴史に新たなページを刻む、5代目の機種「ニコンF5」が昨年発売されました。今回はニコンをお訪ねして、多くのカメラファンから注目を集めたF5の開発についてお話を伺いました。



ニコンF5（1996年発売）
ニコンF1シリーズの5代目として登場した最新機。「8コマ/秒モータードライブ」「5点測距・新オートフォーカス」「3D-RGBマルチパターン測光」など、プロユースにも応え得る様々な機能を搭載。

F1「桁」シリーズの伝統を継承しつつ、 飛躍的なステップアップを実現。

今から40年近く前、カメラといえばレンジファインダー式のものが高級とされていたが、このタイプのカメラをも凌駕するだけの新しい機能やシステムを備えた製品として開発されたのが、ニコンで初めての一眼レフ・ニコンFだ。その開発理念は「基本機能の充実」「システム性の構築」そして「自動化の追求」。「ファインダーで見たものがそのまま写る」というメリットに代表される「一眼レフならではの機能に、将来の発展性を考えた数々のシステムを付加し、自動化も進めていくことで、それまでの常識を覆したのだ。

「一眼レフ」という形をとったことで、これまでの中と上下、左右の5点に配置したもので、その中から撮影者が被写体に合わせて選ぶことが可能だ。そして例えばその被写体が動いているもので、撮影者が選んだフォーカスエリアから外れてしまった場合、他のエリアが自動的にバックアップしてピントを合わせられる機能を持っている。

「今まで撮れなかったものが撮れる、数々の新機能を搭載。」
F5における、大きな開発テーマのひとつは「スピード」。モータードライブ連写で1秒間に8コマという撮影スピードと、その速度にも確実に対応して機能する、高速AFのスピードは驚きに値する。さらにこのAFは、5点のフォーカスエリアを使って被写体に合焦するという今までにない特長を備えている。これはフォーカスエリアをファインダー内の



5点測距・新オートフォーカス
右のイメージ図は、太枠になっている右側のフォーカスエリアが選択されているところ。「ダイナミックAFモード」では、撮影者が選んだフォーカスエリアから被写体が動いてしまった場合でも、他のエリアが自動的にバックアップして合焦する。

この「ダイナミックAF」の開発意図について（株）ニコン カメラ技術部の日下洋介氏は、「従来のフルオートAFの場合は、カメラが自動的にフォーカスエリアを選んでしまうので、確かに間違いのない写真は撮れるのですが、自分の撮影意図を重視するプロの方にはちょっと不満が残る面もあるのではないかと考えました。F5のダイナミックAFはあくまでも撮影者の意志を優先しますので、プロの要望にも応え得る機能だと思っております」と自信たっぷりに語ってくれた。昨年のアトラクタオリンピックの際も、プレス向けにテスト貸ししたF5が大評判で、多くのカメラマンがメインのカメラとして使用するなど、すでにス

「プロを満足させる究極の機能」として、もうひとつ見逃せないのが「3D-RGBマルチパターン測光」という新しい測光方式だ。この測光方式において画期的なのは、従来の方式で使われている輝度情報や距離情報などに加え、被写体の色情報までも考慮して、適正露出を割り出すということ。「例えば人物撮影でモデルが黄色い服を着ていたとすると、今までならアンダー気味になりがちだった露出が、F5なら鮮やかに再現できるんです。また、夕景の撮影などでも、夕方の沈んだ雰囲気、より肉眼で見た感じに近く描写でき



（株）ニコンカメラ技術部 日下洋介氏



（株）ニコンカメラ開発部 後藤哲朗氏

ますよ」と（株）ニコン カメラ開発部の照井信彦氏はその威力を説明する。このように「今まで撮れなかったものが撮れるカメラ」といえるF5は、スポーツ撮影をはじめとしたプロカメラマン以外に、芸術分野の研究所スタッフなどからも重宝されている。ファインダーが交換式で特殊な条件での撮影に好都合なことなどが、その理由だという。

このほか特筆すべきF5の特長としては、まずボディをチタンとアルミの金属製にして、堅牢さとともに最高級機にふさわしい重厚感を持たせたこと。また、露出などを設定するシャッターダイヤルに代えて、液晶パネルを採用。ひとつのボタンにひとつの機能に対応させるなど、多機能でも分かりやすい操作性を実現している。さらに手にとってみると実にしっくりとするホールディングの良さなどは、皆さんにもぜひ一度試していただきたい。「さらにF5は、カメラ自体が撮影データを記録できて、これをパソコンと接続することに、そのデータの表示や保存などができます。もし次世代機「F6」を開発するとしたら、カメラ自体のデジタル化も含めた、デジタル時代への対応がいつそう大きな課題となるでしょうね」と後藤氏。「F1」シリーズのさらなる進化を、我々も楽しみに待ちたい。

Nikon



●ボディ正面
最高級機にふさわしい重厚感を備えた金属製ボディ。ボディの随所にアルミダイキャスト、ファインダーカバー部はチタンにすることで、小型化とともに堅牢性を高めた。



●ボディ上面
従来のシャッターダイヤルに代わり、液晶のディスプレイ画面が付いた。撮影モードや露出の値が大きく表示されるので、初心者や高齢者にも見やすい。



●ボディ側面
人間工学に基づき、しっくりと手になじむよう設計されたグリップ形状。ファインダー部の丸形は測光モーターのセレクトダイヤル。



●ボディ前面
中央のシャッターは15万回ものテストに耐える。下の液晶パネルはフィルム感度やカスタムセッティングを表示。また左右の丸い部分はパソコンやリモートコードと接続する差込み口。



（株）ニコンカメラ開発部 照井信彦氏

フィルターで、自分のイメージを演出しよう。

「撮影後、写真にしてみたら自分のイメージ通りに写っていないかった」。こんな経験はどなたにもおありでしょう。秋の紅葉撮影においてもしばしば体験させられるものです。「この色をもっと強調できたら思い通りになったはずなのに」。こうした失敗を防ぎ、自分の表現意図を積極的に作品へと反映させる方法のひとつとして、フィルターの活用があります。フィルターは一般的には表現の補助的な役割と考えられがちですが、一歩踏み込んで、もっと積極的な使い方をされてはいませんかでしょう。

風景を撮影する場合、何時間も待つことが必要とされるケースが少なくありません。例えば朝早くから日の出の瞬間を待っていたり、夕方、日の沈む時を待ち続けることもあるでしょう。ところが帰りのバスの時間間に合わせなければならぬ時など、待つ間に合わせなければならぬことも考えられます。また、夕景を待っていたのに雲が重くたれこめたり、小雨に見舞われることもあるでしょう。たとえこのような時でも予定通りに撮影を行なうために、フィルターを活用するという方法があるのです。



フィルター未使用



フィルター使用/レトロセピアフィルターを使用して夕方の雰囲気に



(上・中) カラーイメージで描写に変化をつける
(下) ブライトピンクでひと味違った夜景に

これらのフィルターは使いこなすのが難しいと思われる方も多いようですが、現在のカメラはTTL測光を採用していますから、露出調整にさほど神経を使わなくても、通常の撮影で効果が得られます。しかし、極端に露光量が落ちるフィルターの場合、カメラぶれを注意するために、三脚が必要とされるケースもあります。

■フィルターを使って自分のイメージを創ろう

フィルターには様々な種類があります。特にカラーフィルム用には特殊効果を演出するフィルターが多くありますので、それぞれの効果を知っておくことで、撮影の面白さが一段と広がるでしょう。

■昼間でも夕方の雰囲気に演出したい時 オレンジ系のフィルターを使用します。薄

■左右(上下)の光のバランスが違う時
景色の中で半分だけ太陽が当たっている時など、光の量が極端にアンバランスな場合に

■赤を強調したい時

夕景、花、そして紅葉など、被写体の中で赤をもっと活かしたい、鮮やかに表現したいケースがよくあります。全面を赤色にするのではなく、赤だけを強調したい場合には、ケンコーから発売されているレッドエンハンサーなどが有効です。これは赤以外の色への影響は最小限に抑えたフィルターです。

フィルター豆知識

知っておくとフィルターの効果を理解するのに役立つ言葉をご紹介します。

★色温度

Kで表され、「ケルビン」と読みます。太陽光は5500K、タングステン光は3200K。色温度が高くなると青みがかかり、逆に低くなると赤みがかかります。通常のフィルムは太陽光を対象にしたデライタタイプですが、ストロボ光の場合も太陽光と同じ色温度で表されます。

★色温度変換フィルター

LB(ナイトバランス)フィルターと呼ばれる、色温度の上げ下げを行なうフィルターです。太陽光の5500Kに近づけた色で撮影したい時に使用されます。

★色補正フィルター

CC(カラーコンベンセーティング)フィルターと呼ばれる。色そのものを補正、つまり色を変えてしまうフィルターです。ただしあくまでも補正用で、例えば蛍光灯下での撮影の色補正などに使います。色温度とは直接関係しないフィルターですが、フィルムのような素材で、フィルターホルダーを使用する場合があります。

★色彩効果用フィルター

基本的にはCCフィルターと同様の役目を果たしますが、もっと積極的に色を強調したり、セピア調の雰囲気なども創り出します。

★紫外線吸収フィルター

UVフィルターと呼ばれ、紫外線による青みを抑えます。ただし、最近のレンズはもともUV効果をもたせたコーティングが施されているものもありますので、この場合、フィルターを使用すると「抜け」が悪くなる例もみられます。ご使用の際は、メーカーにご確認ください。

★露出倍数

フィルターを使うと、フィルムに入ってくる光量が減少しますので、露光時間を多めに調整しなければなりません。その目安である露出倍数は、フィルターの種類によって異なります。



フィルター未使用



フィルター使用/ケンコー レッドエンハンサーで赤色のみを引き立たせる

ND(ハーフ)フィルターを使用します。NDフィルターは本来の色を損なわずに光量の調節ができますが、このハーフフィルターはフィルター面の半分だけNDの効果を持たせて、明暗のバランスを調整しようというものです。例えば建物で上半分に太陽光が当たっているような場合に便利なフィルターです。

ハーフフィルターには半分だけ着色したものもあります。夕焼け空を作りたい時にはハーフオレンジやレッドが使われます。また、上半分がそのままの青空で、水平線側に色を着けることもできます。このフィルターは、景色の中でどの部分に合わせるかが微妙なので、慣れが必要でしょう。

■取材・写真協力 株式会社ケンコー



種類が豊富なカラーフィルター

RICOH
レンズの力。リコーGR1誕生。

GR1

ボディカラー：ブラック/シルバー (サイズ:117mm×61mm×26.5mm)
メーカー希望小売価格 GR1本体(革ケース・ストラップ込)・・・¥90,000(税別)
デット付・・・¥100,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。
〒104 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー パーソナル事業部
0120-007962
●受付時間 月曜から金曜/9:30~18:00 土曜/9:30~15:00
●日曜・祝日はお休みさせていただきます。

OLYMPUS
人から発想します。オリンパス



美しさ、機能だけでもない。
ミュー
μ・新基準

大口径レンズ・35mmF2.8を採用。

このクラスで初めてF値2.8の明るいレンズを搭載。微妙な光を活かした深みのある写真を実現します。さらに高性能非球面レンズの採用により、ひとクラス上のシャープな画質を実現。これまでにない撮影領域と高画質が存分に楽しめます。



μ[mju:] II

希望小売価格(税別)
¥36,000(リモコン・ケース・ストラップ付)



μ[mju:] ZOOM 115

希望小売価格(税別)
¥56,000(リモコン・ケース・ストラップ付)

私のレベルは、そうとう高い。

PENTAX

両手に包み込むほどの超小型ボディ。操作がひと目でわかるダイヤル式オペレーション。絞りとシャッター速度を自在にあやつり、撮影意志をフィルムに焼きつける。カメラ本来の魅力をよみがえらせて、世界のカメラファンから絶賛されたMZシリーズの最新鋭、MZ-3。カメラを愛するすべての人に捧げます。

- 1/4000秒高速シャッター●オートブラケット
- 電子レビュー●メモリーロック他

ダイヤル式世界最小 超軽量先進AF一眼

MZ-3

希望小売価格(税別)
ボディ(ブラック/シルバー)… 83,000円
FAズーム28~70/4AL付… 113,000円
※平成9年7月1日現在、レンズ交換式35mmAF一眼レフで世界最小。



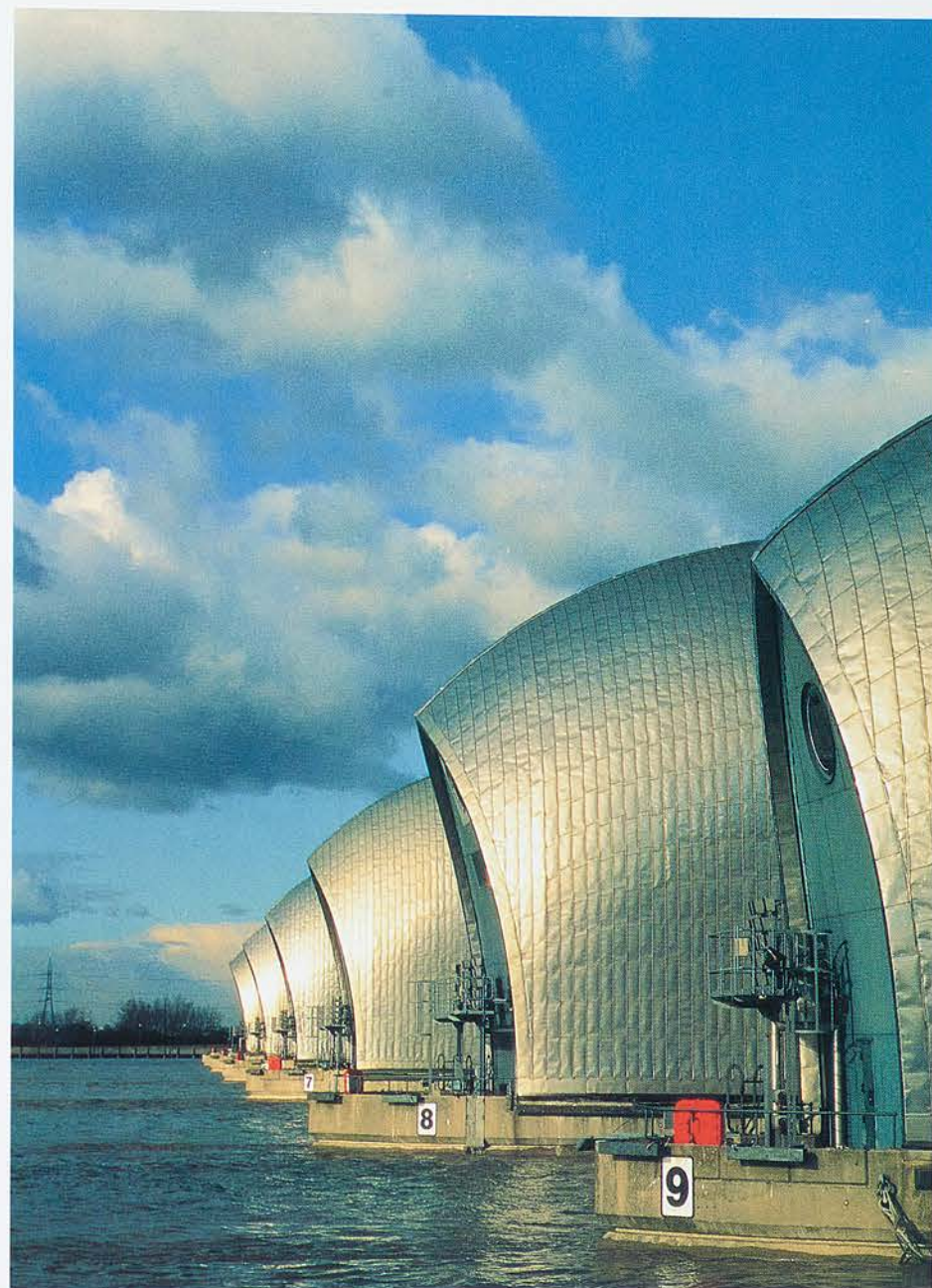
新・発・売

道具として
進化を遂げた
一眼レフ。

カメラが
また
変わった。
それは
言わ
ない

〒100 東京都千代田区永田町1-11-1 旭光学工業株式会社・ペンタックス販売株式会社 インターネットホームページ <http://www.pentax.co.jp/>

SIGMA



O U R
W O R L D

カメラを構えると、街は発見に満ちていた。1996年ロンドン。
Peter Marlow / Magnum Tokyo : 1952年イギリス生まれ。世界的なプロ
写真家集団マグナムに所属、ロンドンを中心に活動する。

撮影データ: シグマ135-400mmF 4.5-5.6, 1/125秒, F 8

ピーター・マーロウが世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

テムズ南岸は、その表情を刻々と変化させている。由緒ある街並みの中に、突然、現れる未来感に、カメラを向けた。シグマレンズは、私の撮影意図に的確に応えてくれた。と、ピーター・マーロウ。使用頻度の高い望遠の領域を1本でカバー。新開発の5群移動式ズームと複合非球面レンズが全撮影領域でハイコントラストな描写を実現。操作性にも優れたコンパクトなズーム。

使用頻度の高い望遠領域をフルカバー。優れた光学性能と操作性を備えたズーム。

APO Tele Zoom Lenses

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201 東京都柏市岩戸南2-3-15 tel. 03(3480)1431まで。



APO 135-400mm F4.5-5.6 ASPHERICAL RF

●AF希望小売価格(税別): 75,000円
ケース・フード・三脚座付

APO 170-500mm F5.0-6.3 ASPHERICAL RF

●AF希望小売価格(税別): 85,000円
ケース・フード・三脚座付

準特選 賞金10万円と楯

リバーサルプリント・桜の部<4名>



「権現堂の桜」山崎光隆 (埼玉県狭山市) 「吹き溜り」青木正義 (長野県上田市) 「古城跡夕霞」西本道郎 (岡山県赤磐郡) 「97.春.花彗星」大久保ヒロミ (愛媛県上浮穴郡)

リバーサルプリント・一般の部<4名>



「花の瀬」大平光徳 (青森県黒石市) 「南国の前庭」岡本慎二 (奈良県大和郡山市) 「早春」鳥井原博美 (愛媛県新居浜市) 「木漏日」山田和範 (香川県観音寺市)

コニカ賞 全部門共通 賞金3万円と楯<10名>



「花と蝶」黒沢 昇 (青森県八戸市) 「枝垂桜」蒲生芳弘 (福島県田村郡) 「春の小川」小坂橋兵吉 (群馬県前橋市) 「水芭蕉」安藤充一 (長野県下伊那郡) 「蓮の花」森継千恵子 (奈良県奈良市) 「川辺の桜」千代原幸三 (兵庫県西宮市) 「見とれる」仁木紹祐 (岡山県津山市) 「淡い思い」西元 貴 (広島県府中市) 「夜桜」河田洋一 (鳥取県東伯郡) 「藤花写し絵」三谷敏行 (徳島県麻植郡)

入選 賞金1万円と楯

リバーサルプリント 桜の部<50名>

北海道
小林 泉 (函館市)「城郭跡に咲く」
福島県
青池今朝夫 (須賀川市)「春の舞え」
埼玉県
竹本正男 (深谷市)「春爛漫」
東京都
谷川祐孝 (豊島区)「黄金の海に浮かぶ山桜」
寺口栄一 (大田区)「無題」
佐藤勝人 (府中市)「桜」
群馬県
大沢軍次 (桐生市)「春風」
下山達夫 (桐生市)「花筏」
荒井 光 (邑楽郡)「春爛漫」
長野県
市ノ瀬正夫 (須坂市)「八重桜」
市橋重信 (下伊那郡)「黎明の桜」
静岡県
安田 勇 (静岡市)「祭り終りて」
天野 勝 (清水市)「桜と富士」
鈴木弘己 (小笠原市)「静寂 (A)」
新潟県
福原廣美 (燕市)「私の桜」
酒井義仁 (中頸城郡)「天を仰ぐ」
福井県
川縁 功 (福井市)「たくましい生命力」
愛知県
榎本定行 (知多市)「春景」
斎田善七 (常滑市)「大佛さんの花見」
三重県
中村清孝 (飯南郡)「山里に咲く」
大阪府
大津康樹 (大阪市)「春の水辺」
京口光代 (箕面市)「自転車散歩」
奈良県
高井栄次郎 (北葛城郡)「吉野の朝」
吉田芳雄 (高市郡)「夕照の枝垂桜」
和歌山県
松下孝志 (東牟婁郡)「春一番」
兵庫県
乾 政信 (宝塚市)「幹」

リバーサルプリント 一般の部<30名>

山形県
瀬野広美 (天童市)「雨上り」
宮城県
佐藤義孝 (黒川郡)「夢の中へ」
千葉県
半田孔昭 (市原市)「ドリーム」

リバーサルプリント 桜の部<50名>

兵庫県
萩原正良 (三木市)「春光の湖畔」
広島県
中廣英明 (広島市)「夜光のハーモニ」
原田今朝弘 (広島市)「若竹と桜」
松田守生 (広島市)「錦帯橋の春」
中西正己 (安芸郡)「千鳥別尺の山桜」
島根県
吉田 進 (八束郡)「落花」
山口県
広田和夫 (宇部市)「春尽」
徳島県
高木 寛 (徳島市)「雨の桜」
岩崎英昭 (板野郡)「無情の雨」
阿部啓三 (応神町)「散春」
岡田好文 (阿波郡)「寸景」
高知県
海地和代 (土佐市)「水辺の春」
福原誠一 (中村市)「散花」
田中 稔 (幡豆郡)「ライトアップ」
愛媛県
柏原洋一 (松山市)「休日」
吉田 望 (新居浜市)「花むしる」
松田洋一 (温泉郡)「立話し」
福岡県
前田祐之 (北九州市)「春の光と影」
芳野輝男 (北九州市)「桜の木の下で」
最所義博 (大野城市)「山門と櫻」
長崎県
西村誠一 (諫早市)「春のおとずれ」
前田達朗 (諫早市)「4月の夜」
熊本県
田中富美穂 (八代市)「優美」
沖縄県
鶴本光弘 (浦添市)「沖縄の桜」

ネガカラープリント 桜の部<20名>

北海道
福村 稔 (札幌市)「春の匂い」
高野清司 (上磯郡)「仲間」
山形県
稲毛 実 (上市市)「水鏡 (A)」
福島県
阿部儀晴 (いわき市)「楽しいおしゃべり」
千葉県
坪倉徹真 (木更津市)「春爛漫」
埼玉県
大塚栄治 (所沢市)「春の権現堂堤」
東京都
小室三喜雄 (足立区)「春の光景」
木俣健彦 (青梅市)「散花輝く」
浅見信男 (青梅市)「桜・富士」
静岡県
柴 吉宏 (清水市)「船越公園にて」
三重県
和田 勉 (四日市市)「朽ちる」
山本 田鶴子 (桑名市)「名木の下で」
福井信也 (名張市)「里の春」
大阪府
寺田友三 (八尾市)「一枝のさくら」
兵庫県
木村哲也 (姫路市)「校門のしだれ」
岡山県
戎谷典子 (倉敷市)「春艶」
田辺 明 (吉田郡)「散る」
香川県
近藤 白 (三豊郡)「輝く」
高知県
天野良男 (安芸郡)「花と彗星 (II)」
熊本県
西谷貴浩 (八代市)「みずすまし」

ネガカラープリント 一般の部<20名>

群馬県
宮崎正道 (新田郡)「姉妹」
千葉県
浅野純二 (船橋市)「静かな春」
伊藤達夫 (長生郡)「水な面の春」
埼玉県
田端友一 (上尾市)「生け花」
東京都
奥村誠治 (南安曇郡)「池畔の潤い」
静岡県
鈴木誠次郎 (浜松市)「伽藍の春」
三重県
井上博暁 (伊勢市)「水を溶けるチューリップ」
青木正行 (鈴鹿市)「湖畔の春」
大阪府
竹田祐幸 (大阪市)「乙女椿」
西村六七二 (大阪市)「花芯」
岡山県
山下忠雄 (岡山市)「花のフォルム」
大飼順子 (倉敷市)「菜の花ハンザイ」
広島県
田中隆幸 (広島市)「春の里」
末本 実 (広島市)「なかよし」
島根県
岩崎 健 (益田市)「犬と戯れる」
徳島県
大宅敏雄 (麻植郡)「落花」
愛媛県
澤田昌宏 (松山市)「河岸」
日野 尚 (伊予郡)「雨あがり」
山本 敦 (宇和島市)「たんぼほ フッー!」
福岡県
佐々木義治 (大川市)「山頂花園」

キタムラホームページ <http://www.kitamura.co.jp/>
※ 上位入賞作品は、キタムラホームページ上でご覧いただけます。

カメラのキタムラ 第5回全国春の花フォトコンテスト 入賞作品発表!

主催:カメラのキタムラ 協賛:コニカ株式会社
第5回「全国春の花フォトコンテスト」に、今年もたくさんのご応募ありがとうございました。約17,000点の応募総数の中から、見事に入賞された方々の作品を、ここに発表させていただきます。

総評:桜だけでなく「春の花」全般にテーマを広げて今回で2回目となりますが、今年も、昨年にも増してモチーフとなる花のパリエーションが充実していたと思います。今回審査をして感じたのは、透明感のある春らしい作品、みずみずしい花の姿をしっかりとらえた作品が多く集まったということです。その中で上位に選ばれたものには、単に花の美しさだけでなく、画面の中にストーリー性が表現されていました。例えば自然と人との関わり、生き物と花との関わりなどをとらえることで、映画や小説の一場面のように、奥行きを感じさせる作品となるのです。次回応募される方にも、こうしたストーリー性を考えた作品作りをお願いしたいと思います。

審査員 三好 和義氏
1958年徳島生まれ。東海大学文学部卒業。79年APA (日本広告写真家協会)特選、86年木村伊兵衛賞、95年タチ政府特別賞。写真集は「タチ伝説の楽園」「楽園の友だち〜イルカ〜」「麗久島の森」「美しい日本の四季」(以上小学館)、「SAHARA!〜金の砂 銀の星」(文芸春秋)、「吉永小百合」共著(世界文化社)など多数。今年、小学館より「楽園の原点 オキナワ」「楽園大百科」を出版。



はるらんまん
「春爛漫」 諸岡 稔秋 (茨城県稲敷郡)
寸評:空の部分大きくとらえて、空間的な広がりを出しているのが効果的な作品。超ワイドレンズでたくさんの子供たちをとらえたことで、ストーリー性と温かみを感じさせてくれます。またカラフルな帽子の色が、画面全体を引き立てています。

もろおか としあき
1955年茨城県生まれ。19才で初めてカメラを持ち、青年時代は建築物などを中心に撮影。現在は土浦市の写真クラブに所属し、地元の霞ヶ浦や筑波山などを中心とした、風景写真をテーマに撮影活動を行っている。

特選 賞金20万円と楯

リバーサルプリント・桜の部<2名>



「春のにぎわい」薄井光雄 (福島県白河市) 桜の見物人もとらえ、花見の賑わいをうまく表現しています。
「花鳥春彩」古谷重幸 (広島県広島市) 構図に緊張感があり、日本画のような上品さをもつ作品です。

ネガカラープリント・桜の部<2名>



「花・散るころ」岡本和久 (愛知県小牧市) 見事に張った枝と散った花びらが、重厚感を出しています。
「桜と菜の花」川原英典 (福岡県久留米市) お年寄りたちのくつろぐ姿が、春の風景にマッチしています。

リバーサルプリント・一般の部<2名>



「春の野」平田 清 (北海道札幌市) 多種の花とリスの表情をとらえたローアングルが適格です。
「早春の池畔」松岡敏雄 (香川県大川郡) 菜の花を明るめの露出で撮ったのがいい効果を出しています。

ネガカラープリント・一般の部<2名>



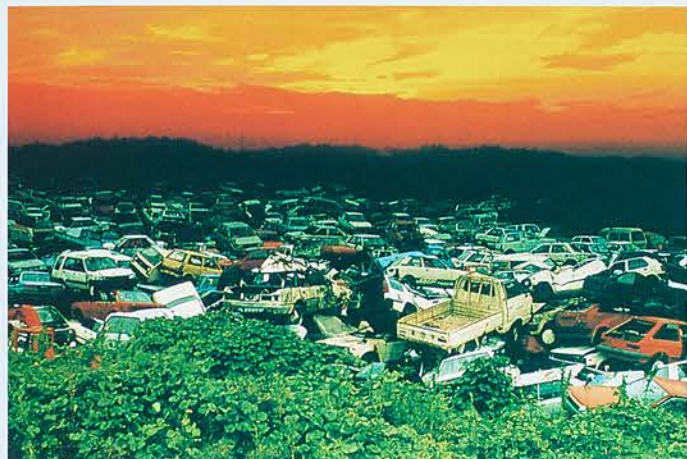
「すいれんと満」本田ヘレン (奈良県奈良市) 水蓮の花と、鉢や水の質感とのマッチングが面白い作品です。
「桜色の笑顔」村上晃 (広島県尾道市) ソフトフォーカスで、春の楽しさをうまく表現しています。



カメラのキタムラは『'98 環境フォト・コンテスト』を賛助しています。



'97環境フォト大賞「収穫」松永和久



'96環境フォト大賞「繁栄の空蝉」青池今朝夫

地球の温暖化やオゾン層の破壊など、近年、我々が住む環境の悪化が深刻化し、豊かな自然を守るための対策の必要性が、全世界で叫ばれています。今や「エコロジー」は、時代のキーワードと言えるでしょう。しかし文明社会が生み出すこうした自然環境への悪影響に対し、残念ながらもまだに閉止めがかかっているとは言えない状況です。「フォトライフ四季」にご登場いただいた写真家の方々に話を伺っていても、「風景写真のモチーフとなる自然が、年々失われつつある」というお話を、必ずと言っていいほど耳にします。私たち写真ファンにとっても無関心でいられない環境問題。悪化する自然環境の中で、わずかに残された美しい風景や、力いっぱい生きていく動物の姿をいとおしみ、一枚の作品として残す

ことで、自然の大切さをより多くの人々に訴えてゆくことも、私たちが写真を撮る上で大きな意義といえるのではないのでしょうか。ビジネス誌でおなじみのプレジデント社では、「写真を通じてエコロジーを考える」ことを目的に、三年前より「環境フォト・コンテスト」を主催。過去三回、予想をはるかに上回る応募が寄せられたという中で、写真を愛好する人々の、環境に対する関心の大きさを物語っています。第4回となる今回は、環境庁が後援に加わったほか、カメラのキタムラも賛助企業としてこのコンテストをバックアップ。「フォトライフ四季」をご覧の皆様も、こうした主旨をご理解いただき、各協賛企業が掲げる募集テーマにそった作品を、ふるって応募ください。

INFORMATION

●作品は、カメラのキタムラ全店で受付けております。
●詳しい応募資料は、カメラのキタムラ店頭にご用意してあります。

応募要項

- 応募作品について
 - ★作品は、協賛企業19社の募集作品テーマから選び、テーマにふさわしい写真(組写真は不可)で応募。
 - ★一人何点、何社でも応募可。ただし同一原稿での重複応募は不可。同一テーマでの入賞は一人一賞。
 - ★写真は、白黒写真、カラー写真のどちらでも自由。
 - ★作品は、プリントで応募。プリント・サイズはキャビネ以上なら自由。
 - ★作品は、オリジナル未発表のもの。
 - ★応募作品は返却いたしません。
 - ★作品には、テーマ、画題、応募者の氏名、年齢、住所、電話番号、職業を明記したものを作品の裏面に張り付ける。応募作品が複数になる場合は一点ごとに同様のものを添付。
 - ★入選作品は、写真展用に再度プリントのため、ネガ・ポジの提供。提供のない場合は入選は取り消し。
- 締め切り、発表について
 - ★作品の送り先は、〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1 新横浜WNビル 株式会社キタムラ
 - 「環境フォト・コンテスト」係
 - ★締め切りは、1997年11月20日(正日消印有効)
 - ★入選作品の発表は、プレジデント誌98年3月号。
- 審査員
 - 加藤三郎氏、中谷吉隆氏、環境庁担当、各協賛企業の担当者、プレジデント誌編集長
- 入賞賞金について
 - ★入選作品は、環境庁長官賞1点、グランプリ「環境フォト大賞」1点、協賛企業19社の各テーマごとに優秀賞1点、佳作2点。賞金は、グランプリ30万円、優秀賞19点に各10万円、佳作38点に各1万円。
- お問い合わせ先
 - 株式会社キタムラ
 - 「環境フォト・コンテスト」係
 - TEL045476-0777
- 主催/プレジデント社
 - 後援/環境庁、環境文明研究所、富士写真フイルム
 - 協賛企業/カメラのキタムラ、株式会社テック
 - 協賛企業と募集テーマ
 - 味の素株式会社「大地」
 - 伊藤忠商事株式会社「気候」
 - 若谷産業株式会社「ふるさと」
 - 王子製紙株式会社「水のささぎ」
 - オルガノ株式会社「水」
 - シチスン商事株式会社「時」
 - 昭和シェル石油株式会社「太陽」
 - 新菱冷熱工業株式会社「人と空気」
 - 大日精化工業株式会社「緑」
 - 東電電力株式会社「家族」
 - 凸版印刷株式会社「地球の色」
 - トヨタ自動車株式会社「緑」
 - 株式会社ニッポン
 - 「かけがえない地球その一瞬の光陰」
 - 日産産業株式会社「子供」
 - 日本生命保険相互会社「森林のいのち」
 - 東日本旅客鉄道株式会社「地球の実相」
 - 日立建機株式会社「道」
 - 株式会社旭硝子「地球のささぎ」
 - リョービ株式会社
 - 「くらしのこころ自然と生活」

保存版 整理・保存用品特集

保存版

上手に撮れた作品や、大切な記念写真などは、いつでも見られるようにきちんとストックしておきたいものです。

今回は、特に頻繁に写真を撮られる方には欠かせない、写真の整理・保存用品を特集しました。



ナカバヤシ(株) ■ベビーアルバム ジョイフルメモリーズ AS-JBY-401-P-B
●表紙素材: 布地 ●アートフル台紙6枚 ●カラー: ピンク/ブルー ●外形寸法: 338×331×42mm
●スリッケース入り ●希望小売価格(税別): 4,000円

現像されて戻ってきた写真やフィルムは、そのつどこまめに整理し、大事に保存しておきたいもの。それは後で必要になって探さず済む機能性の面からも、あなたの撮影記録や生活記録という面からも、大切なことです。

上手な整理・保存の方法

大きく分けて、写真はプリントされた状態で保存する場合と、ネガやポジの原形で保存する場合とが考えられます。また最近ではAPSフィルムも普及しつつあり、これらはそれぞれに整理・保存のポイントがあります。

■気に入ったプリントはアルバムや額縁に
普通にネガフィルムを同時プリントに出した場合、プリントと現像フィルムが手元に戻ってきます。このうちプリントを保存する方

法として「アルバムに張っておく」ということは、多くの方がされていることでしょう。また、特に気に入った写真は大伸ばしをして額縁に入れれば、いつでも見られて部屋のインテリアの役割も果たします。

おそろしがちなネガフィルムの保存

ところでこうしたプリント写真に比べて、一般の方々がおそろしがちなのがネガフィルムの保存です。後でプリントが色あせたり、なくしてしまった場合でも、ネガさえあればいくらかでも焼き増しができるわけですから、むしろネガフィルムの方に、いっそう大切な保管が望まれます。フィルムが現像されてきた時には、撮影年月日や場所などを記入した上で、整理・分類しておきましょう。

特に大切に扱いたいポジフィルム

また、ポジの場合はスライドにして見るといった役割に加え、それ自体がコンテストに応募する際などは原形となるわけですから、特になくしたり傷つけたりしないように配慮しなければなりません。1コマずつスライドのマウントに入れ、それぞれに必要なデータを書き込んだ上で、大切に保管しましょう。

特に数多く撮影する場合は、被写体別や撮影地別に分類するのも良いでしょう。さらに分類ノートを作り、撮影データなどを記入しておけば、次に同じ場所で撮影する時や、同様の条件下での撮影に役立ちます。

ポジフィルムのチェックに必要なもの

ポジフィルムをチェックする場合、そのままでは画像が見にくいいため、ルーペとライトボックスは必需品です。ルーペには倍率の異なる製品が数多く出ているので、自分に合ったものを選びましょう。また、透過光ではつきりと見るためのライトボックスも、あなたが使いやすいサイズのものを選んでください。

様々な整理・保存用品

■35mmフィルムの整理・保存用品
数コマずつつながったままの、スリッパの状態での保存用には、袋の付いたネガアルバムがあります。1コマずつマウントされたものなら、はめ込み式のスライドケースに入れておくのも良いでしょう。また、35mmフィルム用の保存ケースも発売されています。

プリントの整理・保存用品

プリントの場合、基本的にはアルバムでの保存がメインとなります。一口にアルバムといっても、携帯用のミニアルバムから思い出したいお気に入りの一枚なら、額縁に入れて飾るのも一興でしょう。額縁は、作品のテキストや部屋の雰囲気にマッチした材質のものを選びましょう。

APSフィルムの整理・保存用品

APSの場合、ネガ・ポジのような形で現像フィルムの画像をチェックできないので、カートリッジとインデックスプリントを合わせて保存することになります。すでにAPS用の収納ケースが各社から発売されているので、それを利用するのが便利です。

撮影技術を磨くだけでなく、普段からこうした写真整理・保存術をしっかりと心得ておくことで、あなたのフォトライフをより楽しく意義あるものとしてください。

額縁



■木製フレーム ホリデイ

Vカット台紙付のシンプルな木製フレーム。

- 本体素材：木製
- 外形寸法と希望小売価格(税別)：キャビネ用 185×235mm 880円 6切用 275×326mm 1,200円 ワイド6切用 275×377mm 1,500円 4切用 351×402mm 1,500円 ワイド4切用 351×456mm 1,900円 半切用 432×525mm 2,700円 全紙用 545×655mm 3,700円

■ハーフゴールド

輝きを抑えた品の良いゴールドフレーム。

- 本体素材：アルミ製
- カラー：ハーフゴールド
- 外形寸法と希望小売価格(税別)：キャビネ用 226×176mm 1,400円 6切用 316×266mm 1,650円 ワイド6切用 368×266mm 2,000円 4切用 392×342mm 2,050円 ワイド4切用 447×342mm 2,500円 半切用 516×423mm 3,550円 全紙用 646×536mm 5,500円



プチフレーム



■ソリッドプラス シリーズ

華麗なゴールドと、落ち着いたニッケルの2タイプ。

- 希望小売価格(税別)：ゴールド・L 750円 ニッケル・L 850円
- ゴールド・ポストカード 880円 ニッケル・ポストカード 880円
- ゴールド・Lダブル 1,450円 ニッケル・Lダブル 1,700円



■PCフレーム スクエア

手軽に写真を作品に変身させるプラスチック製フレーム。

- 本体素材：プラスチック製 ●カラー：ホワイト/ブラック/オールブラック
- 外形寸法と希望小売価格(税別)：L用 210×210mm 1,500円/キャビネ用 261×261mm 1,900円

■かわいいジオラマシリーズ

かわいい動物や木人形たちが、あなたの写真を楽しく飾ります。

- デザインと希望小売価格(税別)：キャンディーファクトリー(L) 1,200円 音楽隊(L) 1,200円 ジャングルフレーム(多窓) 3,500円 マウスフレーム(多窓) 3,500円



キャンディーファクトリー(L)

音楽隊(L)

ジャングルフレーム(多窓)

マウスフレーム(多窓)



■アルミフレーム ルック71V

シンプルでベーシックなVカット台紙付アルミフレーム。

- 本体素材：アルミ製
- カラー：シルバー
- 外形寸法と希望小売価格(税別)：キャビネ用 171×221mm 1,100円 6切用 261×311mm 1,400円 ワイド6切用 261×363mm 1,600円 4切用 337×387mm 1,600円 ワイド4切用 337×442mm 2,000円 半切用 418×511mm 2,800円 全紙用 531×641mm 3,800円 パノラマ用 146×310mm 1,250円



■フルールシリーズ

3種類の色合いが選べるVカット台紙付の木製額縁。

- 本体素材：木製
- カラー：ナチュラル/グレー/ブラウン
- 外形寸法と希望小売価格(税別)：キャビネ用 186×236mm 1,200円 6切用 275×325mm 1,700円 4切用 352×402mm 2,100円 ワイド4切用 352×457mm 2,300円

■木製キャンバス アルバム (8ページ)

希望小売価格(税別)：1,480円



■木製キャンバス ミニアルバム (10ページ)

希望小売価格(税別)：780円

■ブランコ ミニアルバム (10ページ)

希望小売価格(税別)：980円



希望小売価格(税別)：980円



マウスフレーム(多窓)

とっておきの1枚をアートにする高級額縁

■アルミフレーム 画廊

作品を引き立てるシンプルなフレームと厚手Vカット台紙。

- 本体素材：アルミ製
- カラー：シルバー/ホワイト/ブラック
- 外形寸法と希望小売価格(税別)：6切用 376×325mm 4,700円 4切用 451×401mm 6,500円 ワイド4切用 516×410mm 7,100円 半切用 584×500mm 8,000円 全紙用 724×614mm 11,400円



スライド用品



■カラーイルミネータープロ B4

超薄型、高性能、B4サイズワイド画面のライトボックス。

- 本体材質：ABS樹脂製 ●照明表面材質：硬質透明アクリル
- 光源：蛍光灯8W 2本使用、インバーター点灯
- 外形寸法：335×425×28mm ●照明面寸法：267×347mm
- 重量：2,200g ●電源：AC100V、50/60Hz共用
- 消費電力：16W ●キャリーケース付
- 希望小売価格(税別) 39,800円



■ライトボックス NEW5000 インバーター

インバーター点灯で、目にも優しい薄型ライトボックス。

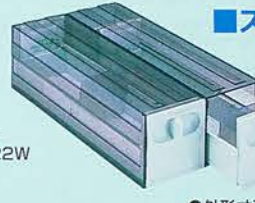
- 本体材質：スチール製、焼付塗装
- 光源：蛍光灯10W 2本使用、インバーター点灯
- 外形寸法：360×285×60mm
- 照明面寸法：298×245mm ●重量：1800g
- 電源：AC100V、50/60Hz共用 ●消費電力：22W
- フィルム押さえ用ゴムマットマグネット付
- 希望小売価格(税別) 16,000円



■プロフェッショナルルーペ 4×

35mmフルサイズをカバーするワイドな視野。ゆがみにじみのない高品位ルーペです。

- 倍率：4倍 ●レンズ構成：1群2枚
- 外形寸法：φ51×72mm ●重量：120g
- 交換用の不透明フード、ストラップ付
- 希望小売価格(税別) 14,800円



■スライドボックス35

ブロックのようにいくつでも結合できるので、コンパクトに大量収納が可能。(2ケース入り 仕様は1ケース)

- 本体素材：ポリスチレン
- 収納枚数：35mmプラスチックマウント約120枚
- 仕切板、インデックスシール付
- 外形寸法：248×66×68mm
- 重量：285g(カビ防止剤を含む)
- 希望小売価格(税別) 1,800円

■スライドファイル35mm バインダーポケットII

黒マスク印刷で画面だけがクッキリ。見やすさ、使いやすさは段違い。

- 表紙材質：ポリプロピレン製
- 金属(4穴)バインダー式
- 35mmポケット式ファイリングシート10枚
- スライド200コマ収納
- 外形寸法：322×287×45mm
- 重量：670g
- 希望小売価格(税別) 2,700円



■スライドファイル 防湿箱INDEX

防湿効果のある密閉式ボックスなので保管は万全。

- ボックス本体材質：ビニールレザー張り
- 35mm用インデックス付ファイリングシート10枚
- スライド200コマ収納
- カビ防止剤付
- 外形寸法：314×273×70mm
- 重量：1,100g
- 希望小売価格(税別) 3,000円

額縁



4切用 401×451mm 4,700円
半切用 500×584mm 6,300円

■アルミ額縁 A300

落ち着いた高級感にあふれるアルミ製額縁。写真の交換が簡単なワンタッチレバーを採用。

- 本体素材：アルミ製
- カラー：ブラック
- 吊り金具・吊りヒモ付
- 外形寸法と希望小売価格(税別)：6切用 325×376mm 4,000円
- ワイド4切用 410×516mm 5,500円
- 全紙用 614×724mm 8,000円



■ゴールドライン フレーム DM11

シックなトーンに2本のゴールドラインが入った、しゃれたデザインのフォトフレーム。

- 本体素材：木製(ウレタン塗装仕上げ) ●カラー：ブラック
- 吊りヒモ付(キャビネ・E用のみスタンド付)

■外形寸法と希望小売価格(税別)：キャビネ・E用 166×216mm 1,450円

6切用 256×306mm 2,000円
4切用 318×368mm 2,300円
ワイド4切用 320×425mm 3,000円
半切用 399×492mm 3,400円
ワイド4切用 413×506mm 3,600円



■フォトフレーム A105A

ガラスに代えて安全な透明アクリル板を使用した、軽快なフォトフレーム。

- 本体素材：アルミ製
- カラー：シルバー/ブラック

<パノラマタイプはシルバーのみ>

- 吊りヒモ付<パノラマタイプ(S)のみスタンド付>
- 外形寸法と希望小売価格(税別)：キャビネ用 205×256mm 1,700円
- 6切用 256×307mm 1,900円 4切用 318×368mm 2,300円
- ワイド4切用 320×425mm 3,000円 半切用 399×492mm 3,400円
- 全紙用 512×622mm 4,900円 パノラマタイプ(S)用 134×299mm 1,900円
- パノラマタイプ(L)用 171×397mm 2,400円

ディズニーキャラクターシリーズ

■フリーアルバム F-20L

ディズニーキャラクターの付いた、台紙が増やせるビス式タイプのフリーアルバム。

- Lサイズフリー台紙20枚
- ビニールカバー付
- 外形寸法：333×323×31mm
- 重量：1,500g
- 希望小売価格(税別)：1,900円

*ここに掲載したものを含め、全部で7種類のデザインがあります。



トラベルM&M

ミッキー&ミニ

プーさんとピグレット

7人の小人II

■フォトスタンド

写真を囲むディズニーの立体キャラクターが愉快な、楽しさいっぱいの写真立て。

- 本体素材：ホリエステル樹脂(前面は透明増幅フィルム使用)
- フック付 ●外形寸法と重量：ハイホース 95×100mm 150g
- ふうせんS 91×95mm 130g
- ミスショットS 91×98mm 110g
- いたずらS 98×102mm 120g
- クッキングS 87×89mm 105g
- 希望小売価格(税別)：840円

*ここに掲載したものを含め、全部で10種類のデザインがあります。



ハイホース

ふうせんS

ミスショットS

いたずらS

クッキングS

アルバム



■ポシェットパリエアルバム (E・Lサイズ) ア-NP310-1~7
レールをスライドさせるだけで、簡単に台紙の差し替えや増減が可能。

- 表紙素材: PPシート
- PPポケット台紙 E・Lサイズ 11枚、パノラマ・キャビネサイズ 1枚
- 収容写真枚数 (1冊): E・Lサイズ132枚、パノラマまたはキャビネサイズ4枚
- デザイン: 7タイプ
- 外形寸法: 327×308×16mm
- 希望小売価格 (税別): 1,000円



■ポシェットミニアルバム

ア-MP100-3・4
穴付き透明PPケース入りで中身が取り出しやすく、持ち運びにも便利。

- 表紙素材: PPシート
- PPポケット台紙18枚
- 収容写真枚数 (1冊): E・Lサイズ36枚
- デザイン: 2タイプ
- 外形寸法: 139×101×15mm
- 希望小売価格 (税別): 250円



■ポシェットアルバム<カラフルシリーズ> (3段厚型)

ア-NP530-1~4
E・Lサイズとパノラマサイズが共用できる、レギュラーサイズのアルバム。

- 表紙素材: PPシート ●PPポケット台紙46枚
- 収容写真枚数 (1冊): E・Lサイズ276枚、パノラマサイズ92枚
- デザイン: 4タイプ ●外形寸法: 297×157×37mm
- 希望小売価格 (税別): 1,500円

■ポシェットアルバム

ア-NP570 B・D
キャビネサイズとLLサイズが共用できる、コンパクトタイプのアルバム。

- 表紙素材: PPシート ●PPポケット台紙30枚
- 収容写真枚数 (1冊): キャビネ・LLサイズ60枚
- カラー: ブルー/ブラック
- 外形寸法: 206×156×23mm
- 希望小売価格 (税別): 600円



■ポシェットアルバムシリーズ (3段厚型)

ア-NP130 B・D・G・R・S
E・Lサイズとパノラマサイズが共用できる厚型タイプで封筒付き。

- 表紙素材: PPシート ●PPポケット台紙45枚
- 収容写真枚数 (1冊): E・Lサイズ270枚、パノラマサイズ90枚
- カラー: ブルー/ブラック/グリーン/レッド/ブラウン
- 外形寸法: 297×157×37mm
- 希望小売価格 (税別): 1,500円



■ネガアルバム (B4サイズ)

ア-201 B・D・R
ネガが見やすく簡単に整理でき、スピーディーな検索も可能なファイリング・システム。

- 表紙素材: PPシート ●台紙20枚
- タイプ: 片面乳白タイプ/両面クリアタイプ
- カラー: ブルー/ブラック/レッド (両面クリアタイプはブラックを除く)
- 収容コマ数 (1冊): 35mmで840コマ
- 外形寸法: 361×252×27mm
- 希望小売価格 (税別): 1,200円
- ※6×6(6×9)、4×5サイズ用もあります。



- 背紙裏面: 1冊ごとのタイトルや通し番号など記入しておけば、外からの検索もスムーズです。
- インデックスシート: タイトルカードと記入する項目が連動していますので、効率よくネガの検索ができます。
- プラスチックと具とし穴のピッチは80mmで統一。収容ネガサイズの違う台紙でも1冊にまとめることができます。台紙は50枚まで収容可能。
- PP製本体: 丈夫・軽い・汚れに強い。
- PP製ポケット: タイトル・撮影場所・日付などを書き込み、台紙下段に差し込めば、ネガの分類や整理に便利です。

収納ケース

■写真文庫シリーズ/E・Lタイプ

E・Lサイズの写真50枚を収納できるホルダー12個が入ります。わずかなスペースに積み重ねて置くので場所を取りません。

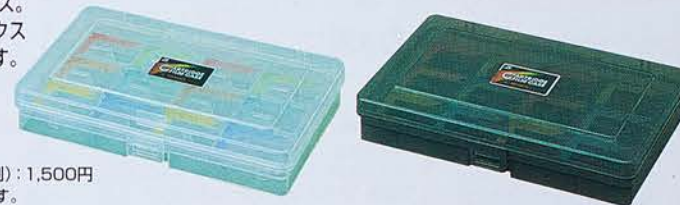
- 本体素材: スチロール樹脂製 ●カラー: 2タイプ
- 収容写真枚数: 1ホルダー50枚×12個=600枚
- 外形寸法: 246×155×120mm
- 希望小売価格 (税別): 1,800円
- ※ネガフィルム用、ポストカード用、ミニアルバム用、パノラマサイズ/DP袋用もあります。



■カートリッジフィルムケース

APSに対応したフィルム収納ケース。カートリッジフィルムとインデックスプリントをいっしょに保管できます。

- 本体素材: ポリプロピレン樹脂製
- カラー: クリア/クリアブラック
- 収容フィルム数: 12本
- 外形寸法: 230×142×41mm
- 重量: 260g ■希望小売価格 (税別): 1,500円
- ※フィルム18本収納タイプもあります。



- ワンタッチ収納: カートリッジはワンタッチ収納機能で取り外し簡単。
- インデックスファイル: インデックスファイルはフタ裏収納で取り外しが簡単。
- カラータイトルシート: カラータイトルシートは直接記入でき、カラフルカラーでファイルと統一。
- スタッキング: 本棚や引出し等に重ねて収納できる便利な構造。

アルバム

■ウィークエンドトレイル

アE-JY-152-1・2
鳥や魚の絵柄のアートフル台紙を使った10穴バインダー綴具タイプのアルバム。

- 表紙素材: 印刷PP貼り
- デザイン: バード柄/フィッシュ柄
- アートフル台紙8枚
- 外形寸法: 338×331×42mm
- 希望小売価格 (税別): 1,500円



■ミュゼフルール

アE-JY-153-P・B
鮮やかな花模様のアートフル台紙を使った10穴バインダー綴具タイプのアルバム。

- 表紙素材: 印刷PP貼り
- デザイン: チューリップ柄/マーガレット柄
- アートフル台紙8枚
- 外形寸法: 338×331×42mm
- 希望小売価格 (税別): 1,500円



ディック・ブルーナシリーズ



■ファスアルバム (Lサイズ)

アF-LF-233-1・2
フリー台紙で2穴ビスタイプのLサイズ用アルバム。

- 表紙素材: 印刷PP貼り
- カラー: オレンジ/ブルー
- フリー台紙20枚
- 外形寸法: 335×325×35mm
- キタムラ店頭価格 (税別): 980円

■ブック式フリーアルバム

アE-JBF-153-R・B・G・Y・W
かわいいミッフィー柄のアートフル台紙を用いたLサイズ用ブックタイプのアルバム。

- 表紙素材: 印刷PP貼り
- カラー: レッド/ブルー/グリーン/イエロー/ホワイト
- アートフル台紙10枚
- 外形寸法: 337×322×20mm
- 希望小売価格 (税別): 1,500円



■1BOXポケットアルバム

1PL-158-R・B
ポケット台紙で3段タイプのE・L・Pサイズ用アルバム。スリッケース入り。

- 表紙素材: 印刷PP貼り ●カラー: レッド/ブルー
- EL判3段/パノラマ判兼用ポケットポイント台紙50枚
- 収容写真枚数: EL判300枚/パノラマ判100枚
- 外形寸法: 293×211×55mm
- キタムラ店頭価格 (税別): 1,080円

■フェルカルバム (2段タイプ)

アカ-DDX-71-R・B
ポケット台紙で2段タイプのE・L・KGサイズ用アルバム。スリッケース入り。

- 表紙素材: PP製・溶着式製本
- カラー: レッド/ブルー
- EL判/KG判兼用ポケット台紙16枚
- 外形寸法: 202×156×16mm
- 収容写真枚数: EL判64枚/KG判32枚
- 希望小売価格 (税別): 700円



■フェルカルバムミニサイズ タテ型

アカ-PX-301-R・B・Y
ポケット台紙で1段タイプのE・Lサイズ用ミニアルバム。透明スリッケース入り。

- 表紙素材: PP製・溶着式製本 ●カラー: レッド/ブルー/イエロー
- EL判1段ポケット台紙14ポケット
- 収容写真枚数: EL判28枚 ●外形寸法: 135×100×10mm
- 希望小売価格 (税別): 300円

※ここに掲載したものの以外にも、ディック・ブルーナシリーズの各種アルバムをラインアップしています。



イクシを着よう。

天気がいいと、わたしとイクシは、よく散歩に出かける。気軽にヒョイとぶら下げて、「おっ、これだ。」と感じたら、自由気ままにレンズを向ける。そんなスタイルが、わたしは好きだ。光も風も、きょうと同じ日はないからね。イクシは、どんなファッションにもフィットする、スタイリッシュなAPSカメラ。だから、いつも一緒に連れて歩こうよ。

- ◎特殊合金・SUS316の世界最小ボディ。◎カートリッジフィルムでワンタッチ装填。
 - ◎高画質24-48mm^{※2}2倍ズームを搭載。◎自由に選べる3タイプのプリントサイズ。
 - ◎そのほかにも、充実の高機能を搭載。 ※1'97年5月1日現在、ズームレンズ搭載カメラの中で、
 - ※2 35ミリ判カメラ換算で30-60mm *カメラについての詳しい情報は撮影用非売品です。
- カタログをお送りいたします。ご請求は、〒108-111 東京都港区三田3-12-15 東急三田ビル キヤノン販売株式会社 IXY係まで、ハガキでお気軽にお申し込みください。 キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

カードサイズカメラ
Canon
IXY
メーカー希望小売価格 ¥48,000
(リモコン・ケース付き、税別)



視線入力4倍ズーム、イクシGEも発売中!

メーカー希望小売価格 ¥69,000 (リモコン・ケース付き、税別)

- 1 スムーズな切り替えが視認入力可能に
- 2 5点測距AI-AE、ベストショットタイムロック
- 3 ワンタッチ電動フィルム装填と超景深IX機能
- 4 ホワイトコートの高品位アルミと金属ボディ
- 5 高画質22.5-90mm4倍ズーム (35ミリ判カメラ換算で28-112mm)



フォトライフ四季 ふれあい広場

読者の皆様から寄せられた、お便り＆お写真をご紹介します。

●●●フォトコーナー●●●



こんにちわ拓海です。今10ヶ月、ママの専属モデルやってます。でもポーズの注文がうるさくて、いやんなっちゃう。この先、いつまでモデルやらされるのかな?
亀谷裕美子様 北海道札幌市



ブリタニースパニエルのアンディくん10才です。老眼鏡をはめて「見にくいよう」と言ってます。
酒井ふみえ様 三重県四日市市

お便り＆傑作写真大募集!

このコーナーでは、皆様からの楽しいお便りや、傑作写真にコメントを添えた投稿を募集しています。掲載させていただいた方には粗品を進呈いたします。ハガキ・封書での送り先は、〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ広報室「フォトライフ四季ふれあい広場」係まで。お便りは、ファックス番号 045-476-0778でも受けつけております。また、お近くの「カメラのキタムラ」に直接お持ちいただいても結構ですので、読者の皆様からのたくさんのご応募をお待ちしています。(なお、応募作品の返却はいたしかねますのでご了承ください。)

※このコーナーに多数のご応募をいただき、ありがとうございました。今回はすべてのお便り・お写真をご紹介できませんでしたがご了承ください。

編集後記

今年もいよいよ「全国秋の彩フォトコンテスト」の募集時期がやってきました。審査員の竹内敏信先生も、「年々、作品レベルが上がっており、今年も日本の秋らしい彩りと出会うことを楽しみにしています」と大きな期待を寄せておられますので、皆さんもキタムラ店頭のパスター・チラシをご覧ください。ふるってご応募ください。こうした風景作品をじっくりと撮りあげるのも撮影の醍醐味ですが、一方でもっと気軽に写真の楽しみ方をされている方々もいらっしゃるようです。その代表が新連載「日常風景ウォッチング」にご登場いただいた南伸坊氏。南さんの撮られた「街で見つけた変なモノ」「思わず笑ってしまう看板」などを眺めていると、写真というものは様々な楽しみ方ができるものだ改めて気づかされます。そういえば、最近若者を中心に「ブリクラ」や「モノクロ使い切りカメラ」などが流行っています。私たちの生活の中に「誰でもが楽しめる写真」というものが、確実に根づいているようですね。

プレゼントが当たる!クロスワードパズル

1	2	3	ナ	4	C
5	ト			6	オ
7	リ		8	キ	
9	B	E	10	ヤ	キ
ゾ		11	ハ	D	イ
12	グ		ス		ウ

<ヨコのカギ>

1. 「明日は晴になるう」と夢みる樹です。
5. 夜、寝る時に使います。
6. ○○で笑って、心で泣いて…
7. 話の筋道。○○整然などいいます。
8. 牛肉はビーフ、豚肉はポーク。鶏肉は?
9. シンデレラの馬車はもともとの野菜でした。
11. 同じ意味の言葉は同意語。逆の意味の言葉は?
12. 「ホーホケキョ」と鳴く鳥は?

クロスワードパズル(Vol.20) 解答とご当選者 解答:「ニューガクシキ」

<ご当選者> 片山淑恵(北海道)、小松勝美(北海道)、星野久美子(北海道)、横山貞男(新潟県)、山田恭子(新潟県)、岩村敦子(新潟県)、西坂淑英(石川県)、小沢善八(埼玉県)、池田直子(東京都)、江口アヤ子(神奈川県)、倉持義典(静岡県)、飯田美香子(静岡県)、屋敷展秀(大阪府)、平尾 登(大阪府)、能勢克弥(京都府)、宮脇臣申(広島県)、佐藤秀枝(広島県)、小林雅美(鳥取県)、政村 茂(山口県)、下田高信(山口県)、荒瀬邦代(山口県)、横山千津子(香川県)、広田宏雄(高知県)、岡本充陽登(高知県)、友岡知子(愛媛県)、衛藤和子(福岡県)、自見正治(大分県)、村田陽子(熊本県)、外間園子(沖縄県) 敬称略

答え=

○○○○○

(ヒント:秋の夕空に似合います。)

問題:クロスワードに答えて、A~Eのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先:〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1
カメラのキタムラ
「フォトライフ四季
クロスワードパズル」係

締め切り:11月30日(当日消印有効)

- 「タテのカギ」
1. 象の種類。インドゾウともうひとつは?
 2. 暗い所で写真を撮るのに必要な器材。
 3. インド料理に付いてくる、かまどで焼いたパン。
 4. 楽譜の一番最初に記されているもの。
 6. 秋を彩るくたものひとつ。
 8. 決定的瞬間、絶好のシャッター○○○○○!
 10. 配達が遅れること。



好きなテーマごとに
撮り分けできる。
(季節の花を、趣味の料理を)



1人1人が自分専用の
フィルムで撮影できる。
(私は、旅に遊びに。私は、家族を)



途中で、
出して、
また撮れる

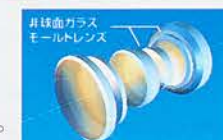
いま写真の新しい楽しみ方がはじまった。

フィルム途中交換 (MRC) 機能搭載。
世界最小・最軽量4倍ズーム、誕生。

- フィルム途中交換機能付きだから
- 撮影者別に、テーマ別に撮り分けができる。
 - 被写体に応じて、フィルムの感度別、種類別に使い分けできる。

写りのよさがちがう、世界最小・最軽量4倍ズーム。

- 高画質を誇る、スーパーEBCフジノンズームレンズ。
- 高性能デジタルプログラム (DP) ストロボ。
- ワイド25mmから望遠100mmまでをカバー。



- インデックスプリントで写真の整理や焼き増しも簡単。
- フィルム装てんも途中交換も、簡単・確実・失敗なし。

EPION

400Z MRC 新発売

APS(新規格24ミリフィルム)カメラ

- 簡単・便利で楽しい多彩なAPS機能
- 69cmまでのクローズアップ撮影
- 夜景ポートレート(スローシンクロ)モード
- 赤目軽減モード
- ストロボOFFモード
- 遠景モード
- 3コマ連続セルフタイマー
- ストロボ指掛かり警告(タッチセンサー)
- 蓄光式液晶表示パネル
- 大きさ・重さ 120.5×68×51mm 235g(電池別)

メーカー希望小売価格
(ケース込)(消費税別) **62,000円**

*フィルム途中交換(MRC)機能は、弊社MRC機能付きカメラ「エピオン」シリーズ間のフィルム途中交換を保証します。*1.4倍ズームコンパクトカメラのうち、容積で世界最小。平成9年7月現在。